

久喜市立図書館の基本的運営方針

〈令和3年度～令和7年度〉

令和3年3月

久喜市教育委員会

目次

1	基本的運営方針の策定にあたって	1
(1)	策定の背景と趣旨	1
(2)	方針の位置付け	2
(3)	方針の期間	2
2	久喜市立図書館の現状と課題	3
3	基本理念	6
(1)	基本的運営方針の構成	6
(2)	基本方針の取り組み	8
4	基本的運営方針の実現に向けて	11

資料編

1	図書館資料	13
2	久喜市立図書館利用者アンケート結果	16
3	乳幼児保護者読書アンケート結果	31
4	児童・生徒読書アンケート結果	38
5	「久喜市立図書館の基本的運営方針」策定の経緯	53
6	久喜市立図書館運営審議会委員名簿	54

1 基本的運営方針の策定にあたって

(1) 策定の背景と趣旨

図書館法第18条に基づき、平成13年に文部科学省より示された「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」を踏まえ、久喜市教育委員会では平成24年度に「久喜市立図書館サービス基本計画」を策定しました。この計画では、レファレンス*などの課題解決型サービスの充実、小・中学校図書館との連携機能強化と学校や教職員への支援及び、ICT*を導入した高度な情報提供の推進等を掲げ、事業を推進してきました。

また、平成13年には「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、それに基づき、国は平成14年に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を、埼玉県は平成16年に「埼玉県子供読書活動推進計画」をそれぞれ策定しました。これを受け、平成18年度に旧久喜市で「久喜市子ども読書活動推進計画」を策定し、合併後も第2次、第3次と策定してきた計画に基づき、久喜市のすべての子どもが、あらゆる機会、あらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、読書機会の提供と環境整備を進めてきました。

これら2つの計画に基づいて、子どもから大人まですべての世代を対象に、久喜市の読書環境の充実や情報拠点施設としての図書館整備に向けて取り組んできたところです。

しかしこの間に、人口減少、高齢化やグローバル化のほか、様々な分野で急速に進展する技術革新などにより、図書館を取り巻く環境は大きく変わってきました。また、開館日数の拡大と利用時間の延長や、事業の充実、司書の安定的確保などを目指し、平成31年4月から市立図書館4館すべてに指定管理者制度*が導入されました。

これらの市立図書館を取り巻く環境の変化を踏まえ、令和2年度をもって計画期間が終了となる「久喜市立図書館サービス基本計画」及び「久喜市子ども読書活動推進計画（第3次）」について、2つの計画を一本化し、指定管理者の豊富なノウハウを活かした図書館運営を行う際に指針とすることができるよう、新たに「久喜市立図書館の基本的運営方針」を策定するものです。

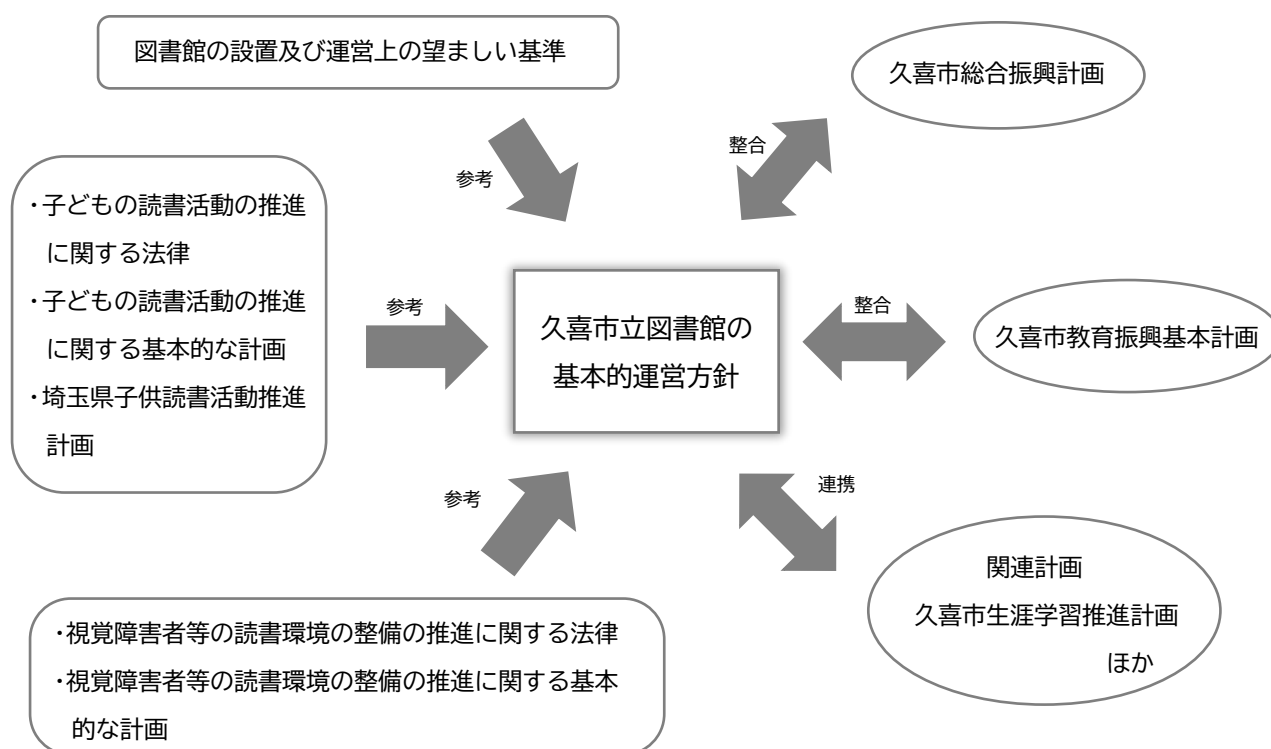
*レファレンス：図書館利用者の調査・研究のために必要な情報や資料などの求めに応じ、図書館員が資料を検索し、情報や資料の提供・回答を行うこと。

*ICT (Information and Communication Technology)：情報通信技術。IT (Information Technology) は情報技術のことだが、これに通信技術 (Communication Technology) を加えたもの。

*指定管理者制度：住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設である公の施設について、民間事業者が有するノウハウを活用することにより、住民サービスの質の向上を図っていくことで、施設の設置の目的を効果的に達成するため、平成15年9月に設けられた。

(2) 方針の位置付け

- ・この方針は、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に基づき、本市の図書館サービスの基本的な方向性を定めた方針として策定するものです。
- ・この方針は、「久喜市総合振興計画」や「久喜市教育振興基本計画」「久喜市生涯学習推進計画」など、関連する計画等との整合や連携を図るものとします。
- ・子どもの読書活動の推進に関する法律第9条第2項に基づく、「市町村子ども読書活動推進計画」を含む方針とします。
- ・視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）及び視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画を踏まえ、障がい者サービスの充実を図る方針とします。



(3) 方針の期間

方針の期間は令和3年度から令和7年度の5年間とし、社会情勢の変化を踏まえ、必要になった場合は適宜見直しを行っていくものとします。

2 久喜市立図書館の現状と課題

(1) 資料収集と所蔵状況

図書館の重要な役割のひとつは、資料を収集・整理・保存し、利用者へ提供することです。

本市の人口1人当たりの蔵書数は、令和元年度末時点で3.18冊と県平均とほぼ同数となりましたが、利用者アンケートの結果によると、「本の種類・数量」を重要視する声が多く、「本の種類・数量」や「視聴覚資料の種類・数量」については不満足との回答が多いたことがわかります。本などの出版書籍のみならず、視聴覚資料や郷土資料など幅広く図書館資料を収集し、後世の利用者を含め、資料の提供や活用を重視していく必要があります。

しかし、すでに蔵書量は所蔵可能数を上回っており、書庫の狭隘化^{きょうあいか}も課題となっています。市民のニーズを的確にとらえ資料の保存機能は保持しつつも、質的にも量的にも適切な資料の更新を行う必要があります。

(2) 図書館利用状況

市立図書館の利用状況は、年度ごとに増減がありますが、人口1人当たりの貸出冊数をみると県平均に届かない状況が続いていました。令和元年度から指定管理者制度を導入し、開館日の増加、開館時間の延長などの運営改善や図書資料費の増額による新規資料の増加など、利便性の向上を図った結果、令和元年度の利用者数は増加し、人口1人当たりの貸出冊数も5.16冊と県平均を上回ることができました。

しかしながら、1年間で実際に資料を借りた利用者数は市内在住者に限ると、1割に満たない状況が続いています。普段図書館を利用しない方にも興味を持ってもらえるイベントなどの取り組みや非来館型サービスの充実、図書館サービスの一層のPRなどが必要です。

(3) レファレンスサービス

図書館の重要な役割には、膨大な情報や資料の中から、利用者が、求めるものをより迅速に、より正確に入手することができるよう支援するということがあります。

利用者アンケートの結果によると、6～7割の利用者が「質問・問い合わせへの対応」を重要であると回答しました。満足度については8割以上の利用者が「満足」「どちらかをいえば満足」と回答しています。今後も市民の幅広い学習や調査・研究ニーズの高まりに的確に応えるため、専門職員としての司書の育成や確保、必要な資料や情報を提供するため、参考図書や商用データベース*などのレファレンスツールの充実が必要です。

*商用データベース：インターネット上で提供される企業等が構築した有料のデータベースのこと。

(4) 図書館利用に障害のある方へのサービス

本市の人口に占める 65 歳以上の高齢者の割合は令和 2 年現在 30%を超えており、利用者アンケートの結果からも全ての館で来館者に占める 60 代以上の割合が 5 割を超えており、今後も高齢者の利用は若年層と比べて多いと想定されます。

また、障害が理由で図書館に来館することが困難な方や通常の印刷物での読書が難しい方へのサービスとして、図書郵送貸出サービス、録音資料貸出サービスを実施しています。ほかにも、デージー図書*などの録音資料、点字資料、大活字図書、LL ブック*といった読書バリアフリーな資料を収集しています。

だれもが快適に読書を楽しめるよう、引き続き、読書バリアフリーな資料の充実やサービスの展開、館内施設や設備への配慮等により、図書館の利用に障害のある方への読書環境の整備を進める必要があります。

(5) 市民活動への支援

市立図書館では、市民の調査・研究、読書活動の支援を目的として、各種講座やイベントを開催しています。しかしながら、利用者アンケートの結果からイベントを重要視する利用者は 3 割程度と決して高くなく、座席やラウンジの改修など滞在型サービスへの重要度も高くないことが分かります。

今後も魅力ある集会・行事サービスを提供していくとともに、市民との協働も含めて、様々な市民が気軽に集まり、交流する「場」としての役割をアピールする必要があります。

(6) 子どもの読書活動への支援

児童サービスは公立図書館のサービスの中でも重要な分野です。市立図書館では、保護者に対して、ブックスタート事業や講座等を実施し、子育てに絵本の読み聞かせを取り入れるよう働きかけを行いました。保護者へのアンケート結果によると、9 割以上の家庭で読み聞かせが行われていることが分かります。乳幼児に対しては、館内に乳幼児図書コーナーを設置したり、年齢層ごとのおはなし会を実施しているほか、小学生に対しては、学校訪問おはなし会・ブックトーク、団体貸出の実施、新 1 年生向けブックリストの配布を行い、子どもたちに良質な図書と出会う機会を提供しました。中高生に対しては、館内にヤングアダルトコーナーを設置したり、中高生向きの電子書籍を収集するなど、読書から遠ざかりがちな中高生への読書推進を図りました。

*デージー図書：DAISY は Digital Accessible Information System の略で、活字の読みが困難な方のために制作されるデジタル資料のこと。目次から読みたいページに飛ぶことができる、CD 1 枚に 50 時間以上収録が可能、音声にテキストや画像を同期させることができるなどの特徴がある。

*LL ブック：LL はスウェーデン語の「Lättläst (分かりやすく読みやすい)」の略で、簡単な言葉や絵、写真を使い、分かりやすく読みやすい形で提供すべく書かれた本のこと。

また、児童生徒への読書アンケート結果によると、1か月に1冊も本を読まなかった人の割合である不読率は小学生が10%、中学生が15%、高校生が49%という結果が出ています。余暇時間の使い方としては、習い事、宿題・勉強、ゲーム、インターネット、部活動などが多く、読書と回答した児童生徒は1割にも満たないことが分かります。

子どもたちが、あらゆる機会、あらゆる場所において、読書に親しむことができるよう、家庭、地域、学校等と連携して、読書機会の提供と整備・充実に努める必要があります。

(7) 技術革新への対応

現在、インターネットやコンピューターなどの情報通信技術の利活用は、利用者情報や蔵書の管理など図書館サービスの基盤となっています。

市立図書館では、指定管理者制度の導入により、図書館ホームページや公式 SNS*の開設、電子図書館*やフリーWi-Fiの整備、インターネット利用端末の設置など、情報サービスを拡充することができました。

しかし、今後も新たな情報サービスや機器の導入が進むと考えられます。図書館が知識基盤社会の重要な担い手であることを踏まえ、インターネットを利用したサービスの提供も含め、情報提供の高度化・迅速化に対応していく必要があります。

(8) 図書館環境

現在、市立図書館は開館から中央図書館が30年以上、菖蒲、栗橋、鷲宮図書館が20年以上経過し、施設や設備の老朽化が進んでいます。また、4つの図書館のほかに東公民館、西公民館、森下公民館に3つの公民館図書室が設置してありますが、図書館の空白地帯は存在したままとなっています。

だれもが安心して快適に図書館を利用できるよう、バリアフリーやユニバーサルデザイン化、ICT機器の導入等を視野に入れた計画的な施設、設備の改修や、図書館に通わなくても読書のできるサービスも含めた身近に図書館がない地域への対応など、図書館のハード面での環境整備が必要です。

*SNS (Social Networking Service)：インターネット上でコミュニティを作り、人間関係の構築を促進するサービスのこと。

*電子図書館：電子書籍をインターネット上で貸出、閲覧するサービスのこと。

3 基本理念

(1) 基本的運営方針の構成

〈基本理念〉

久喜市総合振興計画の大綱「心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち」のもと、久喜市教育振興基本計画に掲げられた基本目標「豊かな生き方を築く生涯学習の推進」を受け、この方針では、図書館の使命を、市民にとって必要な生涯学習情報を提供する拠点施設として、基本理念を次のとおりとします。

市民の暮らしに役立つ、市民に身近な図書館

〈基本理念の実現に向けた基本方針〉

方針1 市民に伝える図書館

多様な資料や情報を積極的に収集し、市民に分かりやすい情報を提供します。

方針2 市民を支える図書館

市民が生活する上で必要な情報を適切な方法で提供し、様々な相談や課題を解決できる情報拠点を目指します。

方針3 市民が集う図書館

久喜市に住み、働き、学び、活動する多様な人々が、それぞれの目的に応じ図書館を活用できるように支援します。

方針4 子どもの成長を応援する図書館

子どもの成長過程に応じたサービスを提供することで、子どもの読書環境の充実と活動支援をします。

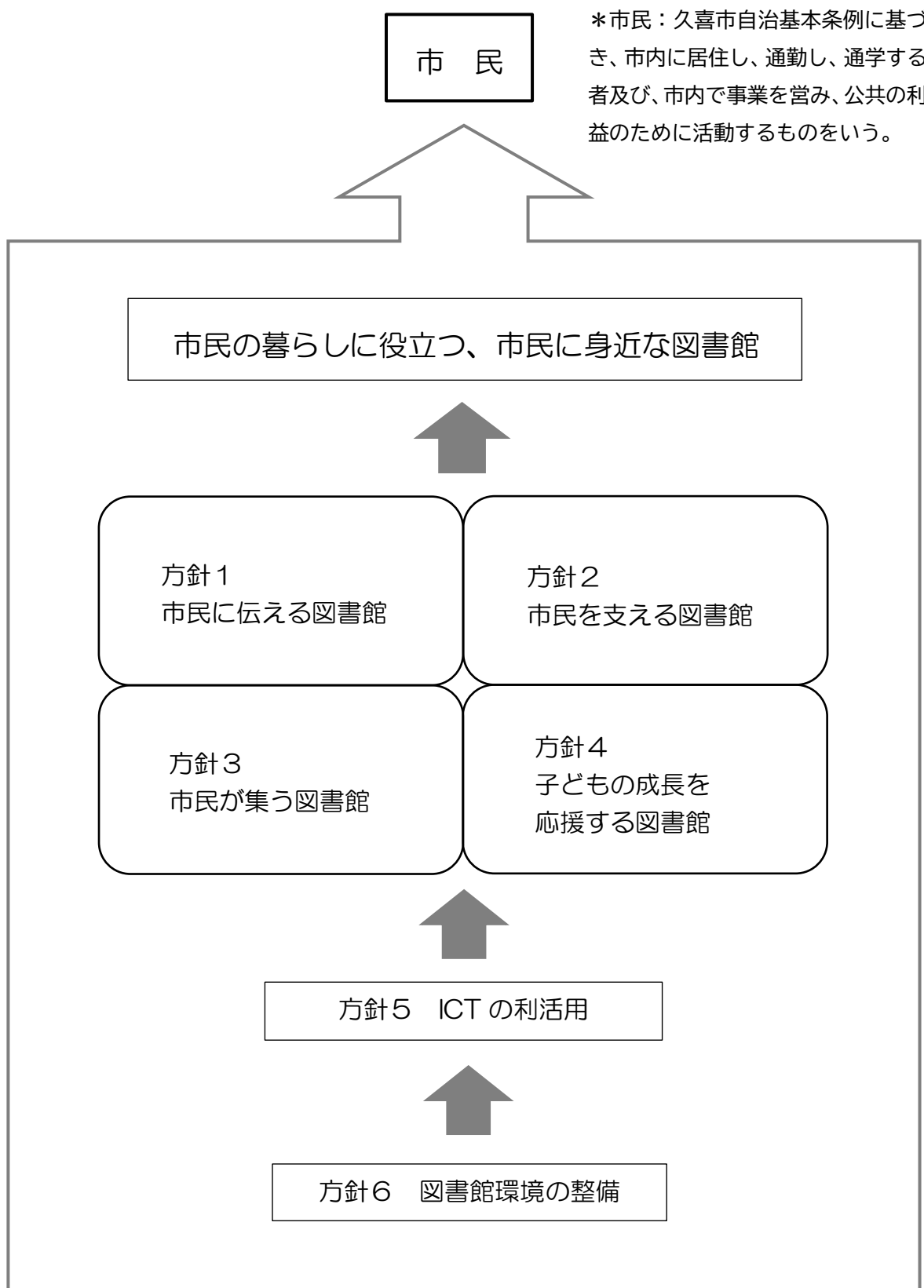
方針5 ICTの利活用

情報提供の高度化・迅速化に対応できるよう設備を充実させ、ICTのさらなる活用を進めます。

方針6 図書館環境の整備

計画的な修繕をしていくことで継続的に施設を使用していきます。また、より利用しやすい図書館づくりを行います。

〈基本的運営方針のイメージ〉



(2) 基本方針の取り組み

方針1 市民に伝える図書館

多様な資料や情報を積極的に収集し、市民に分かりやすい情報を提供します。

◆資料の充実

- ・利用者ニーズに応えた図書資料や視聴覚資料等のデジタル資料を収集します。また、各図書館の地域的特徴を考慮しながら、質・量ともにバランスのとれた蔵書構成とします。

◆郷土資料の充実

- ・埼玉県内の関係資料、久喜市の関係資料、久喜市ゆかりの著作物の収集に努めます。

◆行政資料の収集

- ・庁内各部課と連携し、庁内各部課が発行する資料の収集と保管に努めます。

◆他自治体図書館等との連携

- ・市立図書館で所蔵していない資料については、他の自治体等と連携し、資料を取り寄せて提供します。

方針2 市民を支える図書館

市民が生活する上で必要な情報を適切な方法で提供し、様々な相談や課題を解決できる情報拠点を目指します。

◆課題解決型支援の充実

- ・レファレンスサービスを強化します。
- ・医療・健康、子育て、教育、福祉などの資料収集や情報提供を行うなど、生活支援サービスを強化します。

◆高齢者・障がい者・外国人に対する支援

- ・市内の高齢者施設等との連携も含め、高齢者サービスの充実に努めます。
- ・「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」の制定を受け、障がい者サービスの充実に努めるとともに、ボランティアの育成や県立図書館との連携に努めます。
- ・外国語資料や日本語学習を支援する資料の収集を行います。

◆市内で活動する人、団体、企業等への活動支援

- ・多様な利用者及び市民の利用を促進するため、市民ニーズを把握し、ビジネス情報サービスの充実に努めるなど、様々な方への活動を支援します。

方針3 市民が集う図書館

久喜市に住み、働き、学び、活動する多様な人々が、それぞれの目的に応じ図書館を活用できるように支援します。

◆魅力ある事業の実施

- ・市民のニーズに的確に対応したイベントを開催します。
- ・魅力あるイベントのPRを行い、新たな図書館利用者の開拓に努めます。

◆多様な学習機会の提供

- ・市民の自主的、自発的な学習活動の材料と場所を提供します。

◆市民との協働

- ・ボランティア団体等に活動の機会や情報を提供していくとともに、行事の企画運営などを通して協力体制を築き、活動を支援します。

方針4 子どもの成長を応援する図書館

子どもの成長過程に応じたサービスを提供することで、子どもの読書環境の充実と活動支援をします。

◆子どもたちの読書環境の充実

- ・図書館、家庭、学校、子育て関連施設など、子どもたちが本に触れ、本に親しむ環境を整備し、拡充していきます。

◆子どもたちの読書活動への支援

- ・乳幼児期、幼児期、学童期、少年期、青年期と子どもの成長過程に適した、読書活動に係る各種事業を実施・開催していきます。

◆学校等との連携

- ・学校図書館担当者や学校図書館ボランティア等との連携を図り支援するとともに、学校や子育て関連施設等への団体貸出を充実させます。

方針5 ICTの利活用

情報提供の高度化・迅速化に対応できるよう設備を充実させ、ICTのさらなる活用を進めます。

◆市民への情報発信

- ・ホームページの内容を充実させるとともに、身近なSNSの活用を進めます。

◆インターネット利用環境の整備

- ・利用者が館内でインターネットを利用できる機器を設置します。

◆データベースを利用した情報検索

- ・商用データベースの利用促進や地域資料の電子化を進めます。

◆久喜市電子図書館の充実

- ・非来館型のサービスとして利用者への周知をより一層図るとともに、積極的に電子資料を収集し、電子図書館を充実させます。

方針6 図書館環境の整備

計画的な修繕をしていくことで継続的に施設を使用していきます。また、より快適で利用しやすい図書館づくりを行います。

◆施設・設備の改修

- ・修繕箇所を把握し、計画的に改修や修繕を行い、利用者の安全と利便性を確保します。

◆管理運営体制の確認

- ・指定管理者は効果的効率的な管理運営を行い、教育委員会はこれを管理・監督します。

◆多様な読書環境の整備

- ・非来館型サービスの充実を含め、多様な視点から図書館の空白地帯の解消を目指します。

◆職員の資質・能力の向上

- ・接遇力や専門性の高い業務上必要な知識力の向上に努め、質の高いサービスを提供します。

◆探しやすい資料配置

- ・利用者が求める資料までスムーズにたどり着けるよう、書架サインや案内表示、書架配置を工夫します。

4 基本的運営方針の実現に向けて

この基本的運営方針は久喜市立図書館の目指すべき方向性を示したものであり、方針を達成させるためには、図書館の経営資源である施設と資料と職員とを最大限活用し、効果的、効率的にサービスを実施していく必要があります。また、本方針の実現に向けては、教育委員会、指定管理者、学校などの関係機関が連携して具体的な取組を推進していくことも重要です。

ついては、指定管理者は、この基本的運営方針に基づき、指定管理者が培ってきたノウハウを活かしながら、毎年事業計画を作成し、重点的に取り組む項目や達成目標とサービス水準を設定し、明らかにします。

そして、本方針のもと、図書館サービスが円滑に提供され、目標が達成されているか、指定管理者は各事業において、その取り組み内容や実績を把握し、評価を行うとともに、教育委員会及び教育委員会の附属機関である久喜市立図書館運営審議会に、報告、意見聴取を行っていくことで、基本的運営方針の効果的な推進を図ります。

資料編

1 図書館資料

①分類別蔵書内訳

館名	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
中央図書館	一般書	111,259	111,127	111,902	109,037	111,109
	児童書	55,588	55,981	55,409	56,075	56,154
	参考図書	6,554	6,500	6,568	6,579	6,584
	郷土資料	5,846	5,963	6,165	6,334	6,519
	視聴覚資料	7,958	8,026	8,078	8,162	8,277
	計	187,205	187,597	188,122	186,187	188,643
菖蒲図書館	一般書	69,176	69,243	69,346	69,394	70,229
	児童書	30,388	30,780	31,433	31,895	33,009
	参考図書	1,619	1,643	1,659	1,662	1,672
	郷土資料	4,297	4,423	4,547	4,541	4,625
	視聴覚資料	1,046	1,144	1,213	1,274	1,331
	計	106,526	107,233	108,198	108,766	110,866
栗橋文化会館 図書室	一般書	30,139	31,227	32,349	33,480	34,965
	児童書	15,578	16,427	17,340	18,425	18,938
	参考図書	936	948	950	961	963
	郷土資料	1,411	1,475	1,569	2,017	2,106
	視聴覚資料	0	0	22	23	88
	計	48,064	50,077	52,230	54,906	57,060
鷺宮図書館	一般書	80,728	81,808	83,467	83,833	85,095
	児童書	41,032	41,719	42,458	43,175	43,985
	参考図書	2,242	2,270	2,309	2,324	2,349
	郷土資料	895	944	972	983	1,076
	視聴覚資料	2,877	2,869	2,966	3,034	3,101
	計	127,774	129,610	132,172	133,349	135,606
電子図書館	電子書籍	-	-	-	-	1,532

②年度別利用状況

館名	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	
中央図書館	開館日数	281	277	281	281	324	
	入館者数	148,015	146,315	142,884	138,324	155,121	
	利用者数	個人	74,348	75,382	100,145	99,928	99,873
		Web	30,838	32,076	35,160	41,159	46,869
		団体	72	87	396	463	295
		相互	3,135	2,989	2,998	2,506	1,964
		計	108,393	110,534	138,699	144,056	149,001
	貸出点数	個人	357,631	355,558	351,798	342,266	350,198
		Web	30,836	32,076	35,160	41,159	46,869
		団体	1,003	1,239	2,311	3,216	1,431
		相互	3,781	3,546	3,315	3,147	2,850
計		393,251	392,419	392,584	389,788	401,348	
菖蒲図書館	開館日数	281	272	280	281	323	
	入館者数	86,567	89,595	83,505	85,136	97,538	
	利用者数	個人	27,015	26,870	34,913	33,764	34,952
		団体	84	269	350	375	896
		相互	652	599	507	602	681
		計	27,751	27,738	35,770	34,741	36,529
	貸出点数	個人	117,533	107,035	123,776	117,170	114,893
		団体	1,621	1,870	1,525	1,738	2,902
		相互	831	709	635	764	817
計		119,985	109,614	125,936	119,672	118,612	
栗橋文化会館 図書室	開館日数	276	273	280	281	323	
	入館者数	47,610	43,863	45,411	45,870	57,788	
	利用者数	個人	14,466	15,678	16,756	17,325	18,558
		団体	29	43	61	114	258
		相互	550	500	475	622	743
		計	15,045	16,221	17,292	18,061	19,559
	貸出点数	個人	62,829	62,970	63,433	68,811	72,585
		団体	376	362	384	573	912
		相互	595	562	527	664	808
計		63,800	63,894	64,344	70,048	74,305	

館名	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	
鷺宮図書館	開館日数	281	273	282	285	321	
	入館者数	131,903	121,379	113,019	113,759	132,111	
	利用者数	個人	49,723	47,513	57,458	57,973	62,853
		団体	249	297	581	564	1,168
		相互	960	1,107	898	1,192	1,078
		計	50,932	48,917	58,937	59,729	65,099
	貸出点数	個人	268,856	249,061	240,072	230,507	246,967
		団体	1,811	2,361	3,815	2,631	4,849
		相互	1,132	1,321	1,073	1,451	1,210
		計	271,799	252,743	244,960	234,589	253,026

③実利用者数

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
小学生以下	-	-	2,528	2,403	2,317
中・高校生	-	-	751	717	704
大人	-	-	11,888	11,783	12,024
計			15,167	14,903	15,045
うち市内在住者			13,330	13,142	13,310
利用率（市内在住実利用者数／推計人口）			8.8%	8.7%	8.8%

④図書館サービス指標

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
図書購入費（千円）	26,278	26,679	28,572	26,572	29,172
（県平均）	19,173	17,775	16,699	17,959	16,515
人口1人当たり図書購入費（円）	173	176	188	176	193
（県平均）	166	154	144	154	142
蔵書冊数	457,688	462,478	468,443	470,715	479,378
（県平均）	362,179	365,566	366,482	369,678	371,538
人口1人当たり蔵書冊数	3.02	3.04	3.09	3.11	3.18
（県平均）	3.14	3.16	3.16	3.18	3.19
貸出冊数	782,282	750,880	761,472	747,088	778,791
（県平均）	636,400	630,343	607,761	611,314	577,201
人口1人当たり貸出冊数	5.16	4.94	5.02	4.94	5.16
（県平均）	5.52	5.44	5.24	5.26	4.95

* 貸出冊数に団体貸出は含まれていない

* 人口は翌年度4月1日現在の「埼玉県の推計人口」による

2 久喜市立図書館利用者アンケート結果

調査期間 令和2年2月3日(月)～2月16日(日)

調査対象 一般利用者(中学生以上)

調査方式 配票(入館時や貸出・返却時にアンケート用紙を配布、回収)

※利用者アンケートは本方針のためのものを準備し、実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため、アンケートの実施が難しくなったことから、指定管理者がすでに実施していた利用者アンケートの結果を引用し分析を行いました。

回収数 全館合計 1,354 枚(詳細下表)

館名	中央	菖蒲	栗橋	鷲宮	合計
回収数	602	158	166	428	1,354
割合	44.5%	11.7%	12.2%	31.6%	100.0%

回答者の年齢

最も利用が多かった年代は中央、栗橋、鷲宮が70代、菖蒲が60代であり、すべての館で60代以上の利用者が50%以上となりました。また、中央は10代の利用者の割合が、栗橋は30代の利用者の割合が他館に比べ高いという特徴もありました。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	無回答
中央 (%)	38人 (6.3)	12人 (2.0)	59人 (9.8)	91人 (15.1)	88人 (14.6)	125人 (20.8)	144人 (23.9)	34人 (5.7)	11人 (1.8)
菖蒲 (%)	4人 (2.5)	3人 (1.9)	14人 (8.9)	19人 (12.0)	24人 (15.2)	49人 (31.0)	40人 (25.3)	3人 (1.9)	2人 (1.3)
栗橋 (%)	2人 (1.2)	1人 (0.6)	20人 (12.1)	38人 (22.9)	15人 (9.0)	35人 (21.1)	40人 (24.1)	10人 (6.0)	5人 (3.0)
鷲宮 (%)	19人 (4.5)	12人 (2.8)	41人 (9.6)	56人 (13.1)	54人 (12.6)	108人 (25.2)	116人 (27.1)	13人 (3.0)	9人 (2.1)
全体 (%)	63人 (4.6)	28人 (2.1)	134人 (9.9)	204人 (15.1)	181人 (13.4)	317人 (23.4)	340人 (25.1)	60人 (4.4)	27人 (2.0)

調査の結果

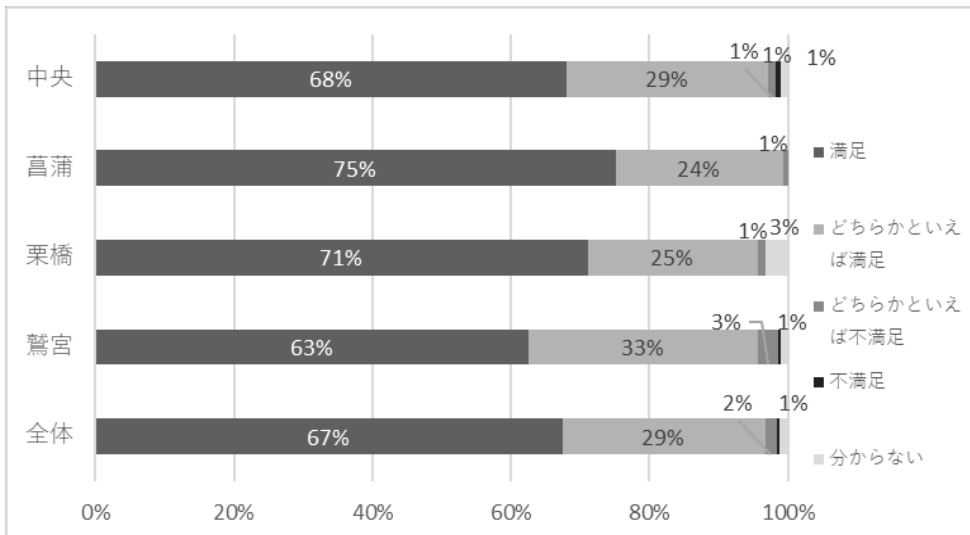
《サービスごとに「重要である」と回答した割合》

重要視する利用者が最も多かった項目はすべての館でスタッフ対応、次いで本の種類・数量でした。他には資料の探しやすさ、スタッフの身だしなみ、予約・リクエストサービス、質問・問い合わせへの対応を重要視する利用者も多く、職員の接遇や能力、資料への到達過程も含め図書資料を重要視していることが分かります。

	スタッフ 対応	スタッフの 身だしなみ	開館日時の 増加	資料の 探しやすさ	本の 種類・数量	雑誌の 種類・数量	新聞の 種類・数量
中央	81.6%	63.3%	61.3%	70.6%	72.4%	46.5%	32.7%
菖蒲	83.5%	69.6%	61.4%	69.0%	71.5%	48.1%	33.5%
栗橋	84.3%	63.9%	66.3%	69.3%	74.1%	45.8%	27.1%
鷺宮	79.4%	61.7%	67.1%	69.2%	71.0%	43.7%	31.8%
	CDの 種類・数量	DVDの 種類・数量	閲覧席 視聴席	質問・問 い合せへの 対応	予約・リク エストサー ビス	本の特集 展示	データバ ースの利 用
中央	34.7%	32.1%	29.9%	60.3%	62.8%	40.0%	25.1%
菖蒲	27.8%	29.7%	25.3%	67.7%	62.0%	48.1%	26.6%
栗橋	24.1%	23.5%	57.2%	68.1%	69.3%	48.2%	23.5%
鷺宮	31.5%	31.8%	29.9%	63.6%	62.1%	43.2%	24.5%
	イベント	Wi-Fi サービス	書籍消毒 器	図書館 ホームペ ージ	利用者マ ナー	自動販売 機	ラウンジ 改修
中央	29.6%	28.4%	42.7%	47.8%	61.6%	16.3%	27.1%
菖蒲	34.2%	31.6%	48.1%	51.9%	55.7%	—	—
栗橋	30.7%	—	40.4%	45.8%	52.4%	—	—
鷺宮	31.1%	27.8%	41.4%	47.2%	65.9%	25.0%	35.5%

《スタッフ対応・説明の分かりやすさ》

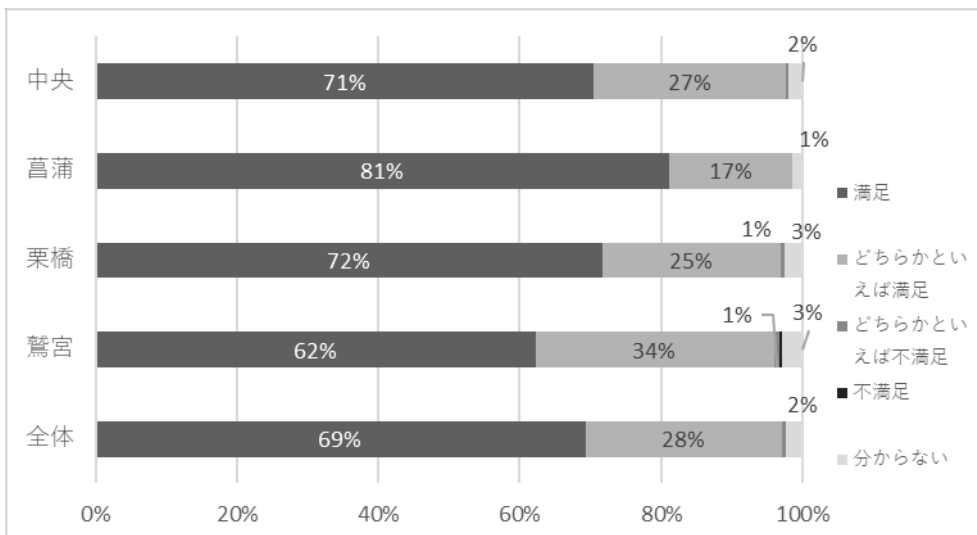
利用者が最も重要視している項目ですが、全ての館で「どちらかといえば不満足」と「不満足」を合わせても、3%程度であり、9割以上の方に満足いただいている状態です。



有効回答数＝中央 557、葛蒲 149、栗橋 159、鷺宮 411、全体 1,276（無回答 78 は除外）

《スタッフの身だしなみ》

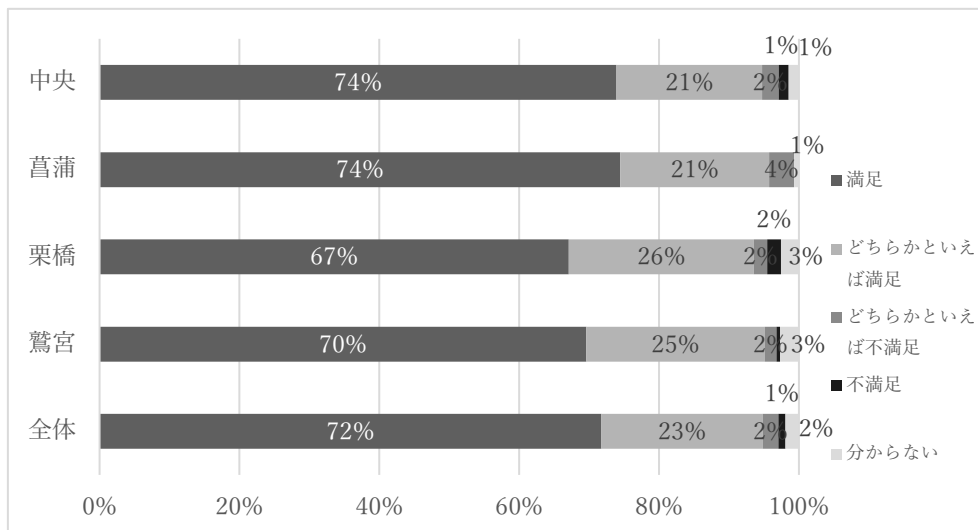
利用者が重要視している項目ですが、全ての館で「どちらかといえば不満足」と「不満足」を合わせても、4%程度であり、9割以上の方に満足いただいている状態です。



有効回答数＝中央 557、葛蒲 149、栗橋 159、鷺宮 405、全体 1,270（無回答 84 は除外）

《開館日と開館時間の増加》

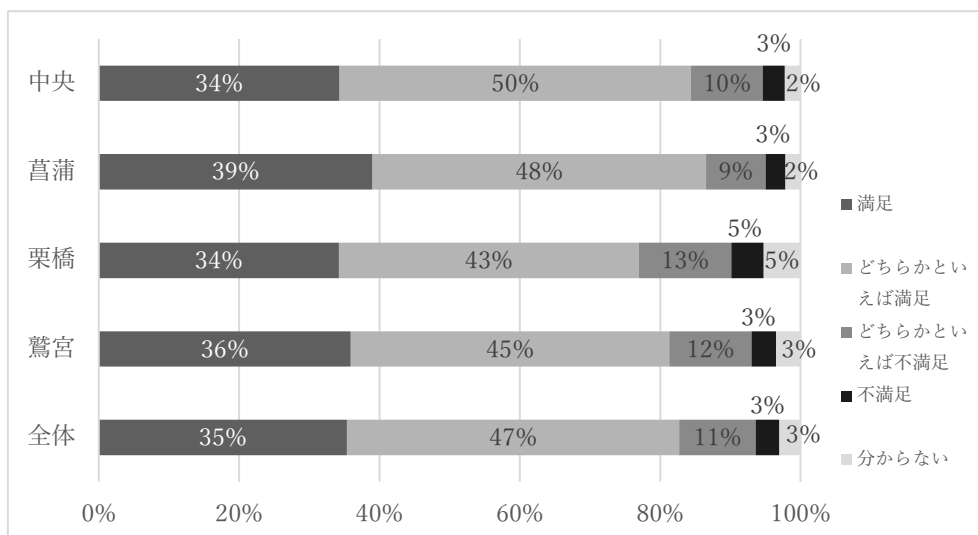
全ての館で「どちらかといえば不満足」と「不満足」を合わせても、4%程度であり、9割以上の方に満足いただいている状態です。



有効回答数=中央 552、菖蒲 141、栗橋 155、鷺宮 408、全体 1,256（無回答 98 は除外）

《資料の探しやすさ》

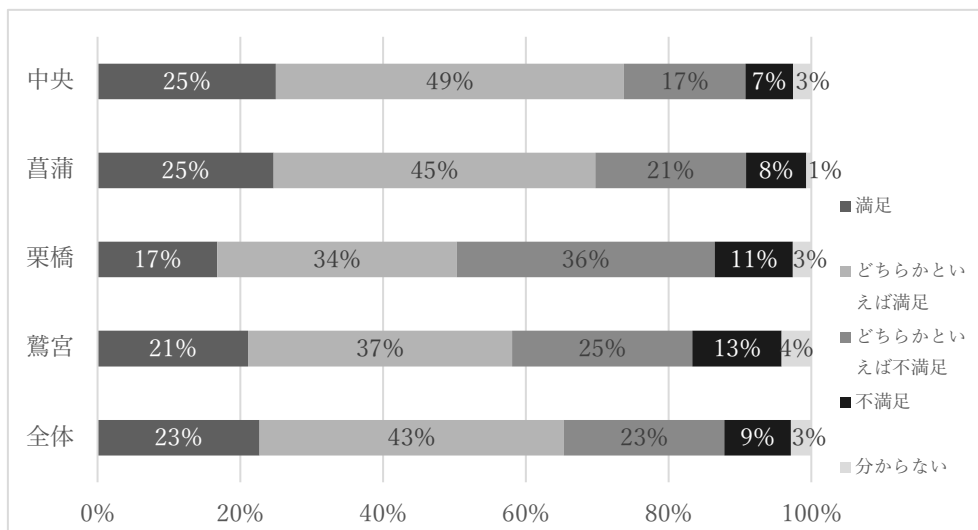
利用者が重要視している項目ですが、「どちらかといえば満足」を含めれば8割近くの方に満足いただいている一方で、「満足」のみだと3割程度にとどまっています。



有効回答数=中央 539、菖蒲 141、栗橋 152、鷺宮 401、全体 1,233（無回答 121 は除外）

《本の種類・数量》

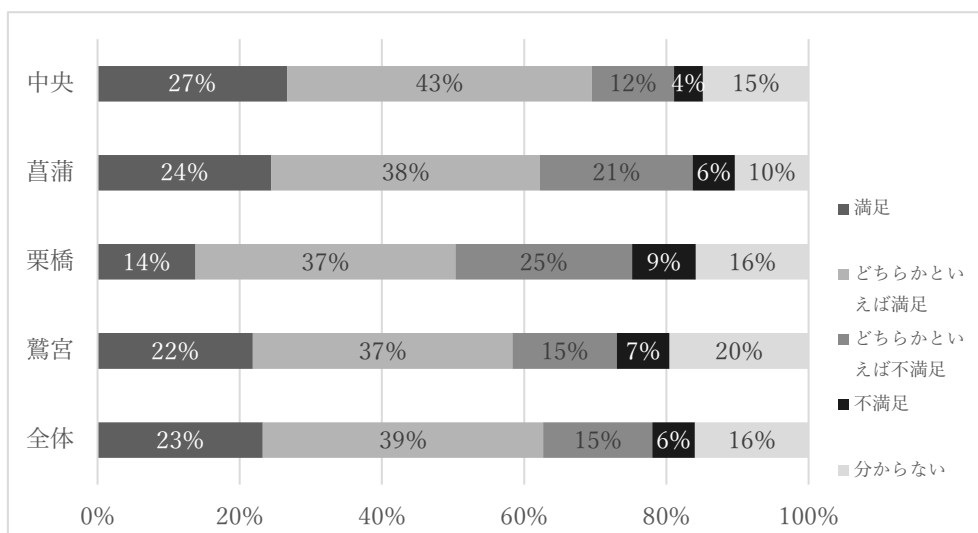
利用者が特に重要視する項目ですが、「満足」は3割にも満たず、全体的に満足度が低いようです。特に規模の小さい栗橋は「どちらかといえば不満足」と「不満足」を合わせると4割以上になります。



有効回答数=中央 552、菖蒲 142、栗橋 155、鷺宮 408、全体 1,257（無回答 97 は除外）

《雑誌の種類・数量》

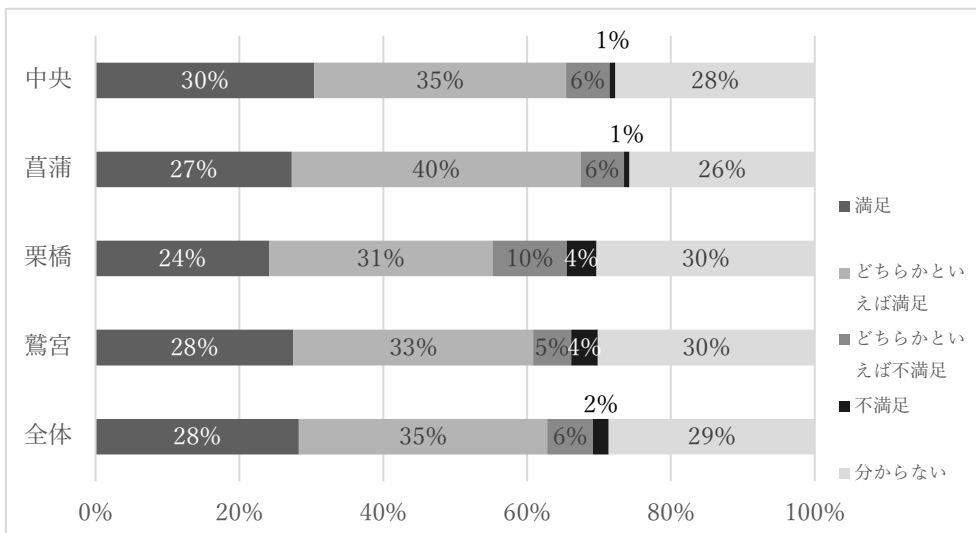
雑誌の種類が多い中央では「どちらかといえば不満足」と「不満足」を合わせても2割に達していませんが、他3館では2~3割程度の方に満足いただけない状態です。



有効回答数=中央 518、菖蒲 135、栗橋 145、鷺宮 389、全体 1,187（無回答 167 は除外）

《新聞の種類・数量》

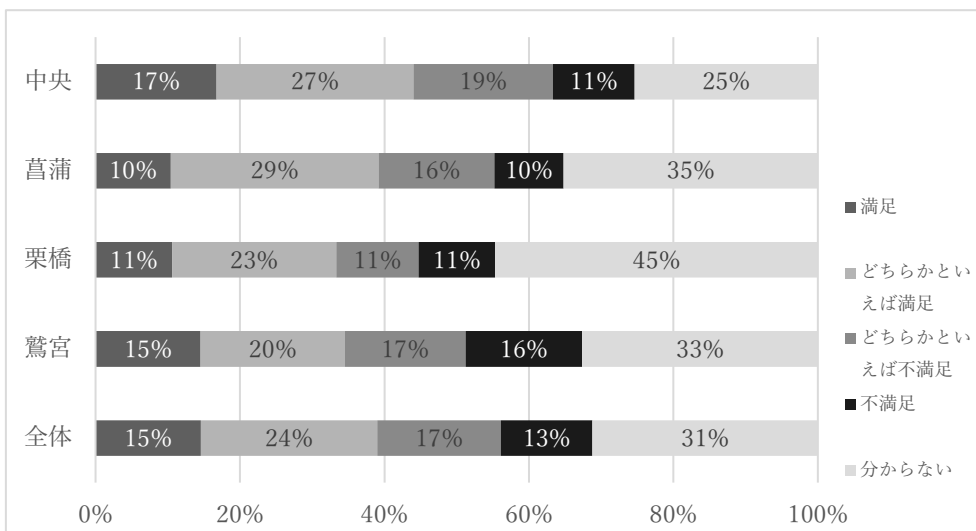
6割程度の方が「満足」と「どちらかといえば満足」と回答していますが、「分からない」と回答した方が3割程度いて、利用状況に差があることが分かります。



有効回答数=中央 480、菖蒲 132、栗橋 145、鷺宮 378、全体 1,135（無回答 219 は除外）

《CDの種類・数量》

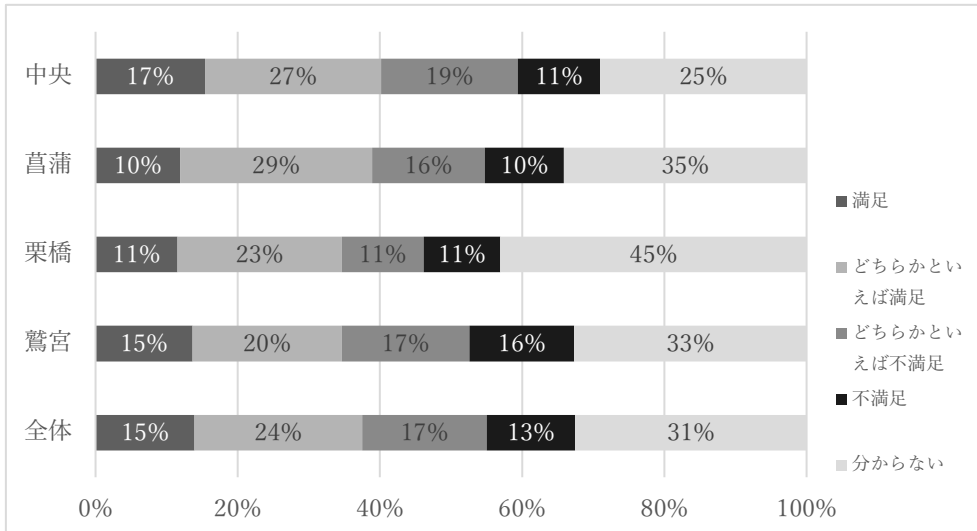
「満足」と「どちらかといえば満足」と回答した方は3~4割にとどまっております、特に令和元年度から視聴覚資料の購入を始めた栗橋は所蔵数が少なく満足度は低くなっています。また、「分からない」と回答した方が3割程度いました。



有効回答数=中央 477、菖蒲 125、栗橋 132、鷺宮 371、全体 1,105（無回答 249 は除外）

《DVDの種類・数量》

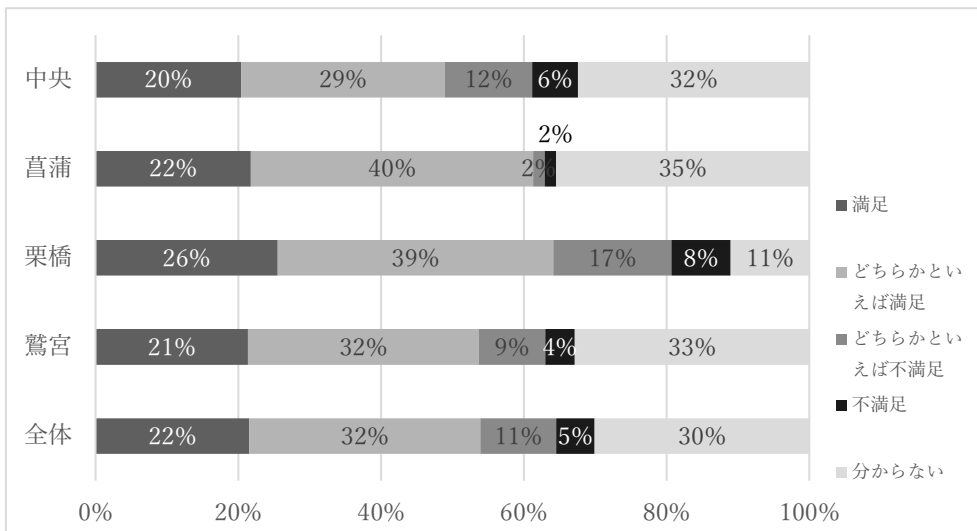
CDと同じような結果となりました。



有効回答数=中央 468、菖蒲 126、栗橋 130、鷺宮 367、全体 1,091（無回答 263 は除外）

《閲覧席、CD・DVDの視聴席》

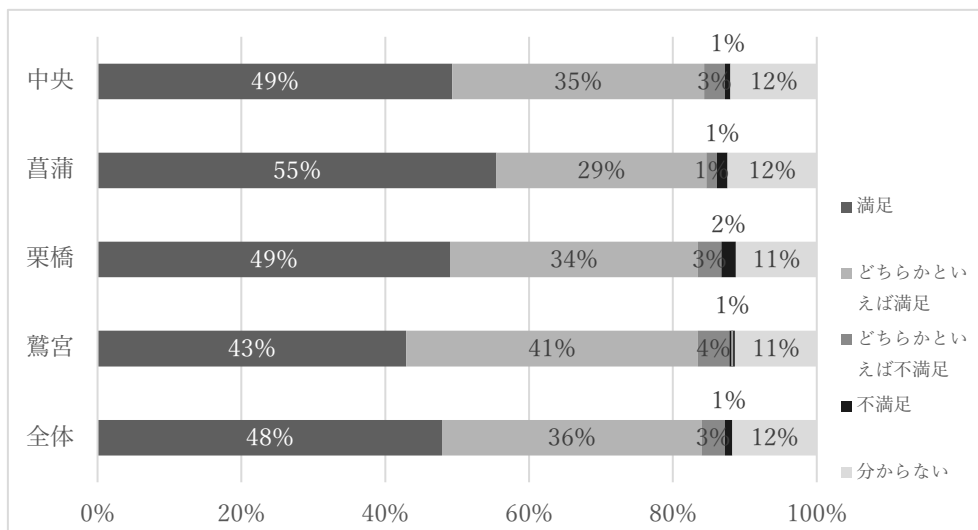
「どちらかといえば不満足」と「不満足」と回答した方の割合は、座席数の多い菖蒲が5%未満なのに対し、他3館は多いようです。また、栗橋は「分からない」と回答した方が他3館に比べ少なくなっています。



有効回答数=中央 466、菖蒲 124、栗橋 145、鷺宮 365、全体 1,100（無回答 254 は除外）

《質問・問い合わせへの対応》

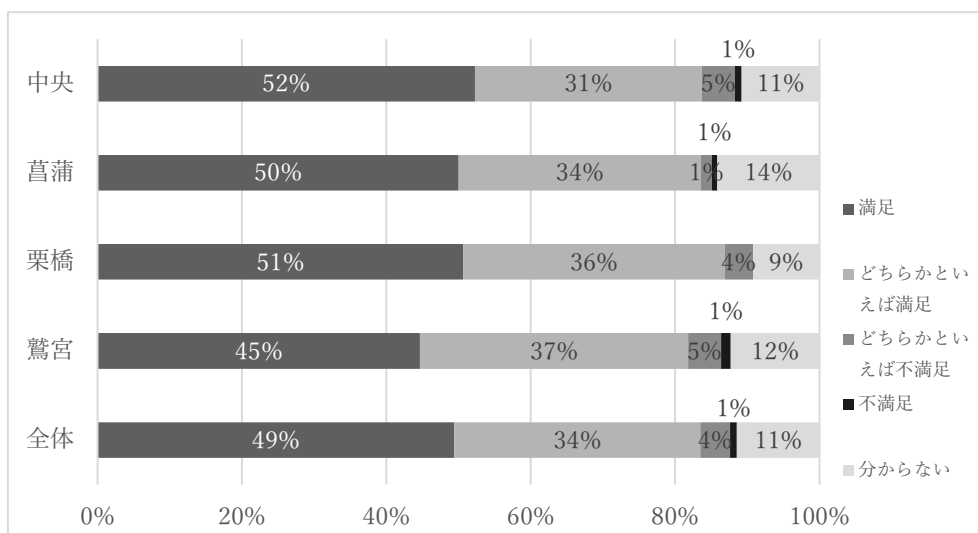
利用者が重要視している項目ですが、全ての館で「どちらかといえば不満足」と「不満足」を合わせても、5%程度であり、8割以上の方に満足いただいている状態です。一方で1割程度の方が「分からない」と回答しており、レファレンスの利用の周知が望まれます。



有効回答数=中央 517、菖蒲 137、栗橋 151、鷺宮 387、全体 1,192（無回答 162 は除外）

《予約・リクエストサービス》

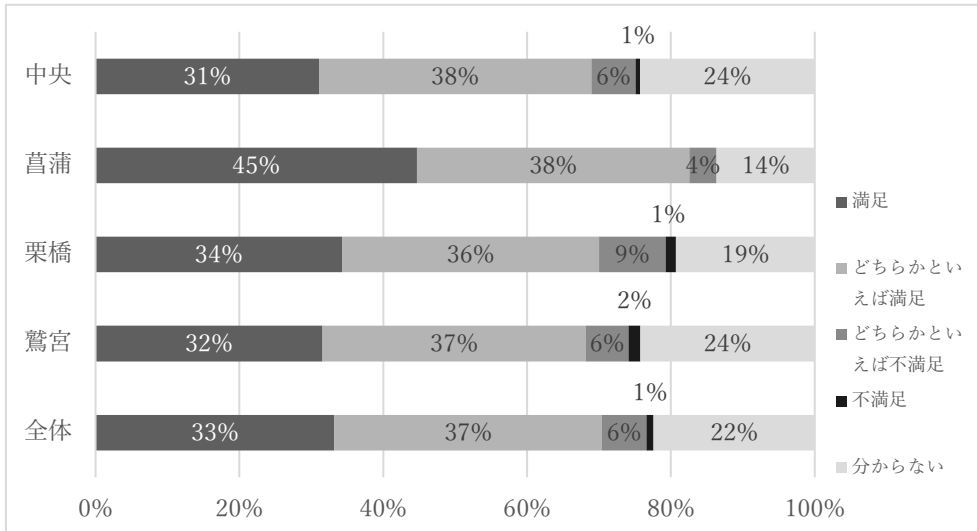
利用者が重要視している項目ですが、全ての館で「どちらかといえば不満足」と「不満足」を合わせても、6%以下であり、8割以上の方に満足いただいている状態です。



有効回答数=中央 528、菖蒲 134、栗橋 152、鷺宮 374、全体 1,188（無回答 166 は除外）

《本の特集展示》

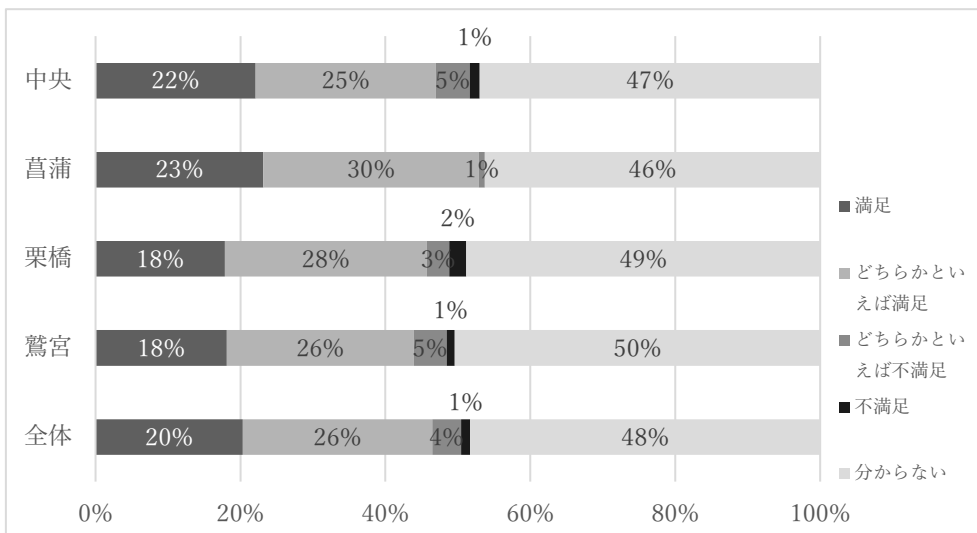
全ての館で 7 割近くの方に満足いただいている状況です。特に菖蒲は不満足や分からないと回答する方は 2 割未満となりました。



有効回答数=中央 486、菖蒲 132、栗橋 140、鷺宮 371、全体 1,129 (無回答 225 は除外)

《データベースの利用》

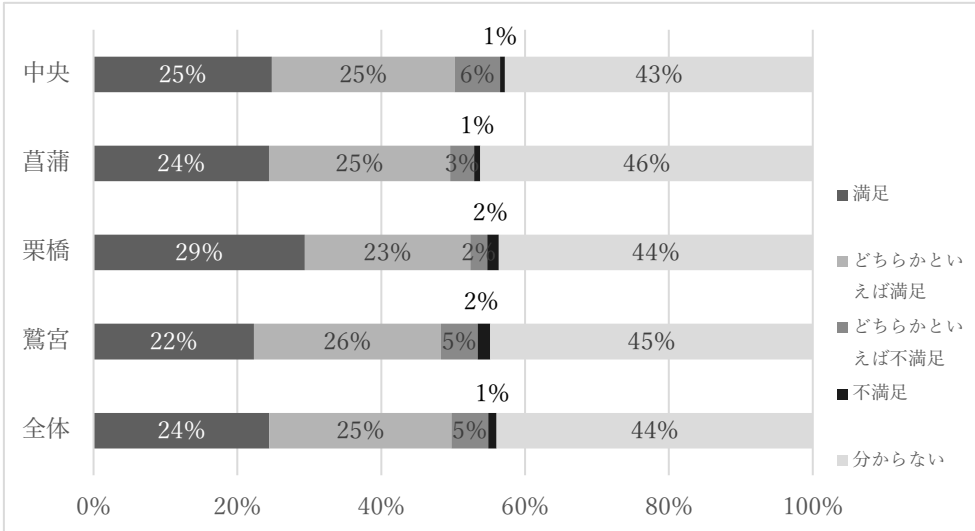
全ての館で半数近くの方が「分からない」と回答しました。データベースの利用について周知と利用方法に工夫が必要です。



有効回答数=中央 430、菖蒲 121、栗橋 129、鷺宮 353、全体 1,033 (無回答 321 は除外)

《イベント》

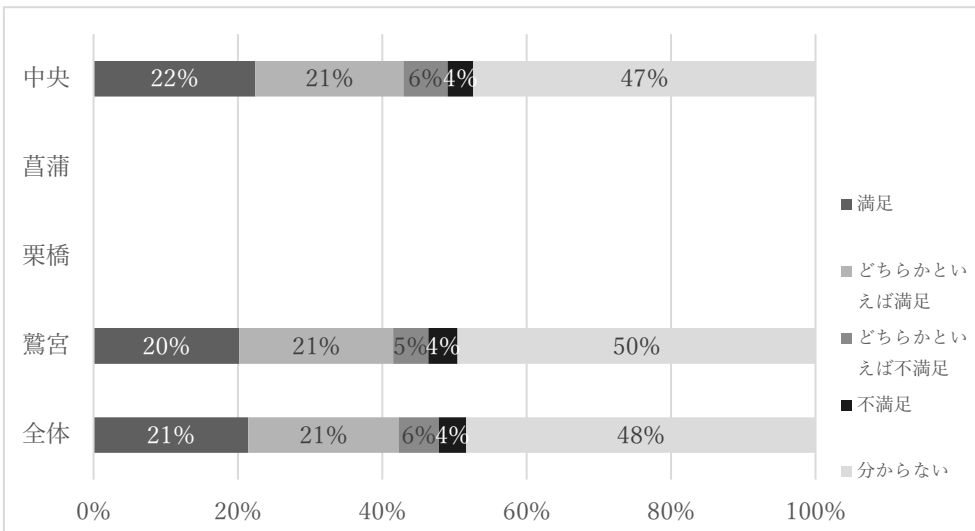
全ての館で半数近くの方に満足いただいておりますが、「分からない」の回答も4割を超えており、図書館で開催するイベントに参加したことのない利用者も多いようです。



有効回答数=中央 444、菖蒲 119、栗橋 126、鷺宮 350、全体 1,039 (無回答 315 は除外)

《Wi-Fi サービス》

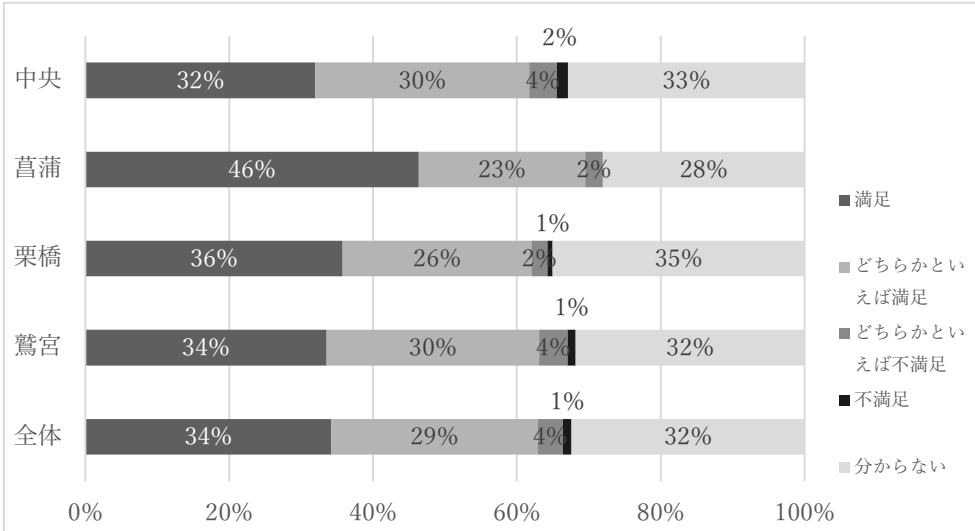
令和元年度から中央・鷺宮のみに導入していますが、「分からない」と回答した方が半数を占めており、利用者の認知度や利用率は低いようです。



有効回答数=中央 424、鷺宮 347、全体 771 (無回答 259 は除外)

《書籍消毒器》

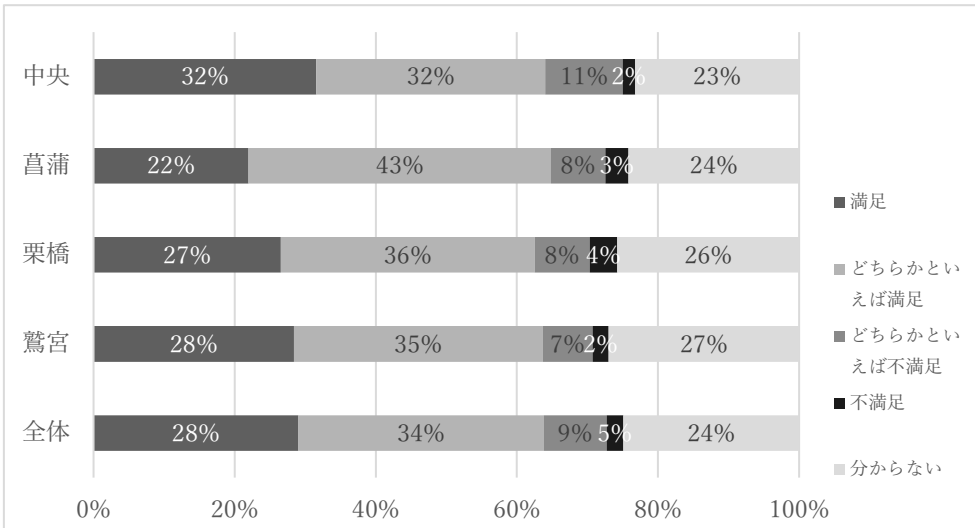
令和元年度から全館で導入しました。6割以上の方に満足いただいています、3割程度の方が「分からない」と回答しており、利用の差が大きいことが分かります。



有効回答数＝中央 444、菖蒲 82、栗橋 137、鷺宮 355、全体 1,018（無回答 336 は除外）

《図書館ホームページ》

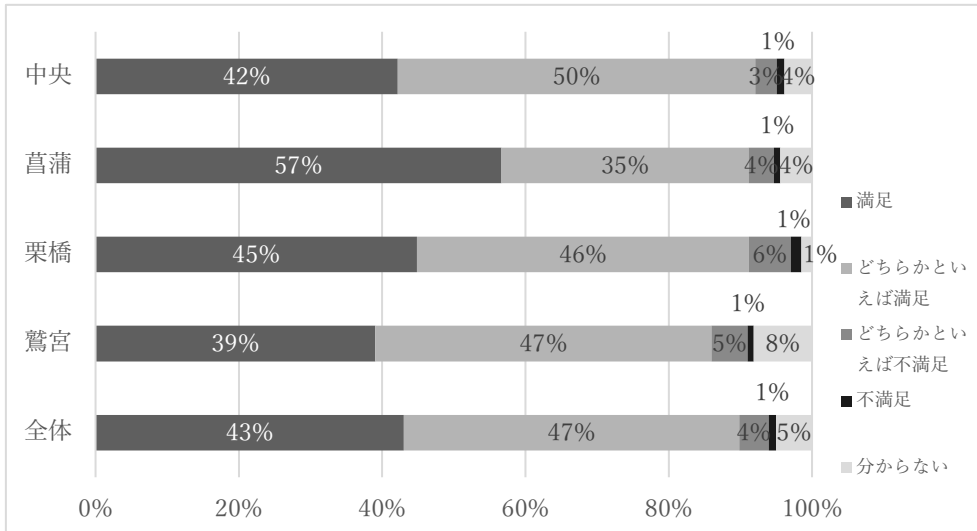
全ての館で6割以上の方に満足いただいている状況ですが、2割程度の方は「分からない」と回答しており、ホームページを見ない・インターネットを利用しない方が一定数いることが分かります。



有効回答数＝中央 456、菖蒲 91、栗橋 128、鷺宮 352、全体 1,054（無回答 337 は除外）

《サービス全般》

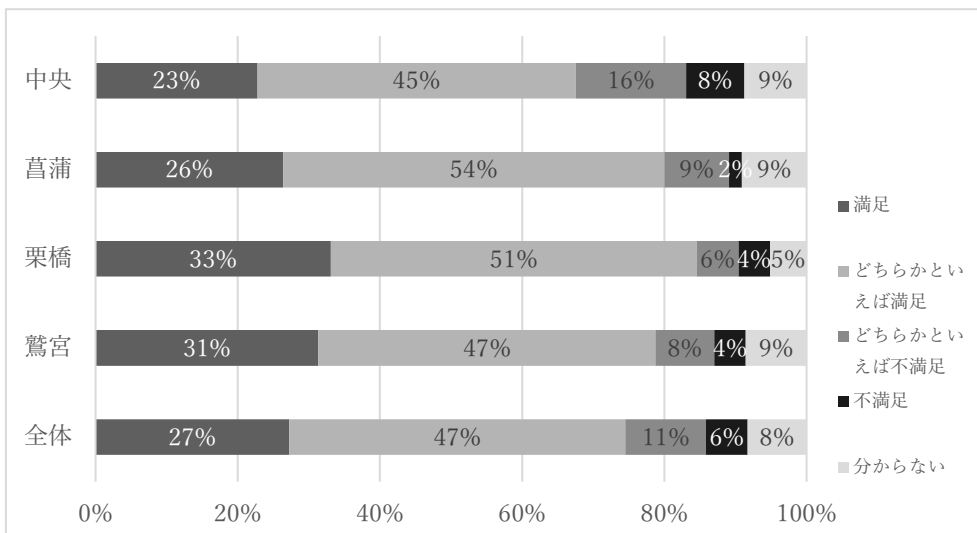
全ての館で「どちらかといえば不満足」と「不満足」を合わせても、1割未満であり、9割程度の方に満足いただいている状態です。



有効回答数=中央 467、菖蒲 113、栗橋 136、鷺宮 356、全体 1,072（無回答 282 は除外）

《利用者のマナー》

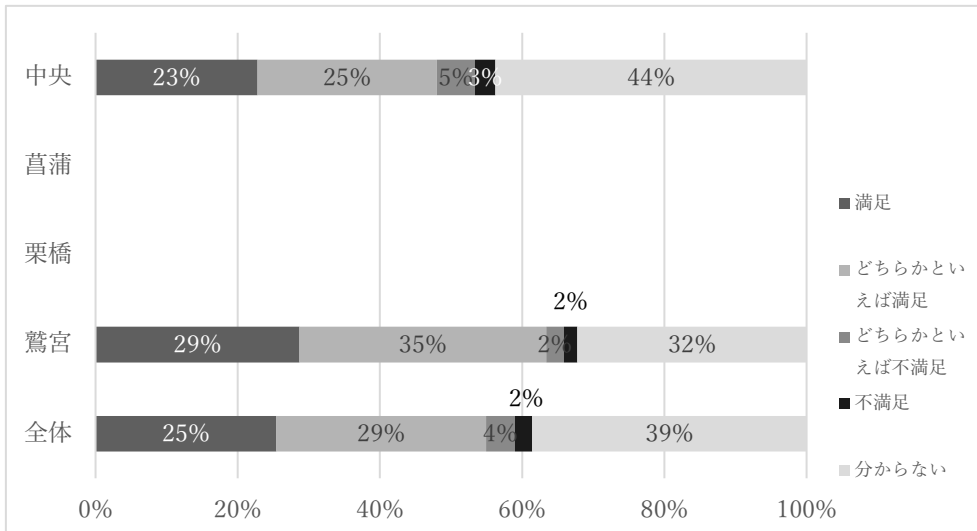
「どちらかといえば不満足」と「不満足」を合わせると、10%以上になり、特に中央は2割を超える利用者が不満足と回答している状況です。



有効回答数=中央 514、菖蒲 110、栗橋 136、鷺宮 368、全体 1,146（無回答 208 は除外）

《自動販売機》

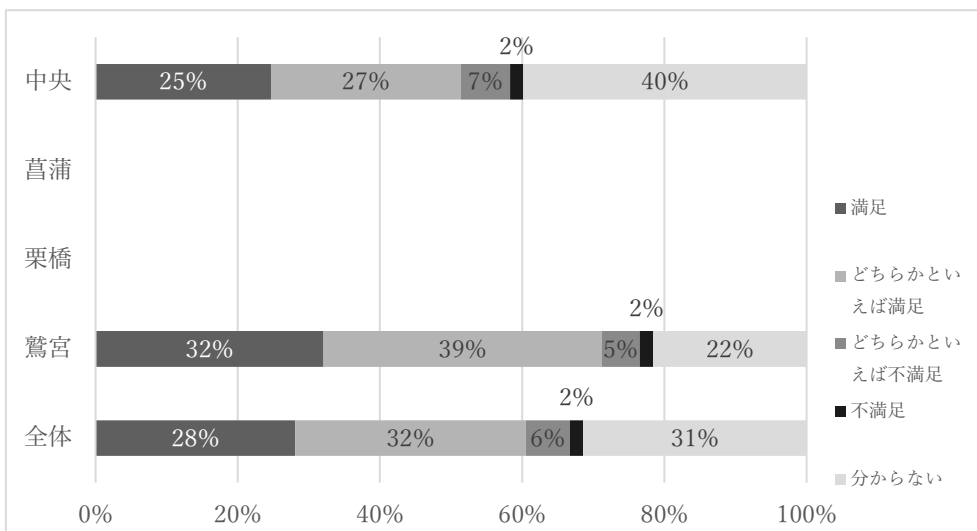
令和元年度から中央と鷺宮で館内に導入しましたが、鷺宮で6割以上の方に満足いただいています。中央では5割に満たない状態で、「分からない」と回答した方も中央のほうが多くなっています。



有効回答数=中央 448、鷺宮 366、全体 814 (無回答 216 は除外)

《ラウンジ（飲食コーナー）の改修》

令和元年度に中央と鷺宮で実施しましたが、中央で5割程度、鷺宮で7割程度の方に満足いただいています。



有効回答数=中央 434、鷺宮 371、全体 805 (無回答 225 は除外)

久喜市立図書館 利用者アンケート

久喜市立図書館は平成31年4月に指定管理者制度を導入し、株式会社図書館流通センターが運営しております。このアンケートは皆様のご意見を伺い、サービス向上に活用させていただくことを目的としております。

◎ アンケートの配布と回収について

- ・ 配布期間 2月3日(月)～2月16日(日)
- ・ 回収期間 2月3日(月)～3月1日(日)
 - ・ カウンターに設置したアンケート回収ボックスにお入れください。

◎ アンケートの結果公表について

- ・ 図書館ホームページと印刷物で公表いたします。

◎ アンケートの記入方法について

- ・ ご利用の久喜市立図書館についてお答えください。
- ・ あなたの年代に「○」をお付けください。
- ・ 質問項目ごとに、あなたにとって重要か、満足しているか「○」をお付けください。
『重要度』とは、あなたが図書館を利用するとき、現在の施設・サービスに対してお答えください。
- ・ 久喜市立図書館へのご要望、ご意見がありましたらお書きください。

◎ 記入例

あなたの年代をお選びください。

10代 20代 30代 40代

50代 60代 70代 80代以上

NO	区分	質問項目	重要度			満足度				
			重要である	重要でない	わからない	満足している	どちらかといえは満足している	どちらかといえは満足していない	満足していない	いずれでもない
A1	接遇	スタッフの対応・説明のわかりやすさ	<input checked="" type="radio"/>			<input checked="" type="radio"/>				
A2		スタッフの身だしなみ	<input checked="" type="radio"/>				<input checked="" type="radio"/>			

アンケートは裏面です。

久喜市立図書館 利用者アンケート

あなたの年代をお選びください。

10代 20代 30代 40代

50代 60代 70代 80代以上

NO	区分	質問項目	重要度			満足度				
			重要である	重要でない	わからない	満足している	どちらかといえは満足している	どちらかといえは満足していない	満足していない	いずれでもない
A1	接 遇	スタッフの対応・説明のわかりやすさ								
A2		スタッフの身だしなみ								
B1	図 書 館 サ ー ビ ス	開館日と開館時間の増加								
B2		資料(本、雑誌、新聞、CD、DVD)の探しやすさ								
B3		本の種類・数量								
B4		雑誌の種類・数量								
B5		新聞の種類・数量								
B6		CDの種類・数量								
B7		DVDの種類・数量								
B8		閲覧席、CD・DVDの視聴席								
B9		質問・問い合わせへの対応								
B10		予約・リクエストサービス								
B11		本の特集展示								
B12		データベースの利用(朝日新聞記事検索、法律情報、官報)								
B13		映画会、図書館講座、文学散歩、和の響きとおはなしの世界、おはなし会、青空おはなし会、工作会等のイベント								
B14		Wi-Fiサービス								
B15		書籍消毒器								
B16		図書館ホームページ								
B17		サービス全般 *満足度のみご記入ください。								
C1	館 内 環 境	利用者のマナー								
C2		自動販売機								
C3		2階ラウンジの改修(照明の増設、テーブルといすの入替え)								

◎ 久喜市立図書館へのご要望、ご意見がありましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。

3 乳幼児保護者読書アンケート結果

調査期間 令和2年2月17日（月）～2月28日（金）

調査対象 市立図書館及び子育て支援センターを利用した乳幼児の保護者

調査方式 来館時やイベント開催時にアンケート用紙を配布・回収

回収数 合計 107枚 （内訳）中央図書館 20枚
 菖蒲図書館 8枚
 栗橋文化会館図書室 0枚
 鷲宮図書館 4枚
 久喜地域子育て支援センター 45枚
 栗橋地域子育て支援センター 10枚
 鷲宮地域子育て支援センター 20枚

乳幼児の年齢

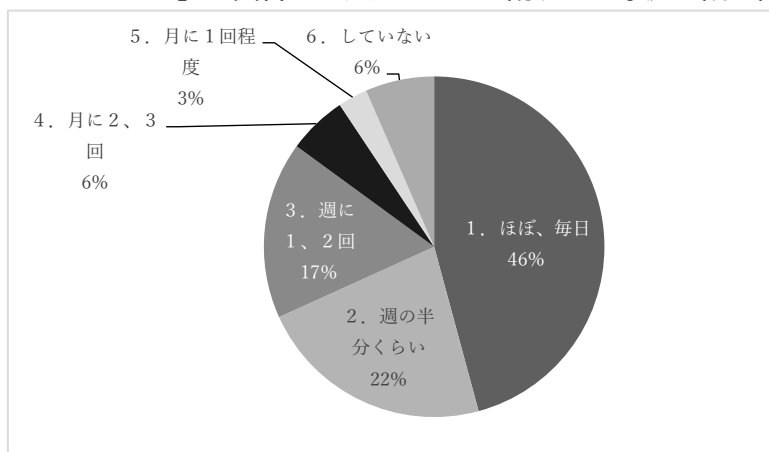
	0～1歳児	2～3歳児	4～5歳児	6歳児～
人数	65	39	22	13
割合	46.8%	28.1%	15.8%	9.3%

※保護者1人に対し子どもが複数人いる場合もあるため、回収数と乳幼児人数は同数にはなりません。

調査の結果

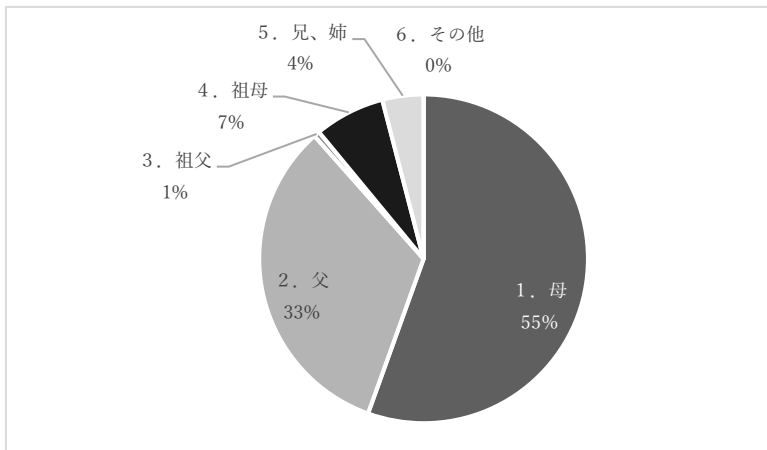
問1 あなたの家庭では、子どもに読み聞かせをしていますか。

「していない」と回答した人は6%で9割以上の家庭で読み聞かせが行われています。



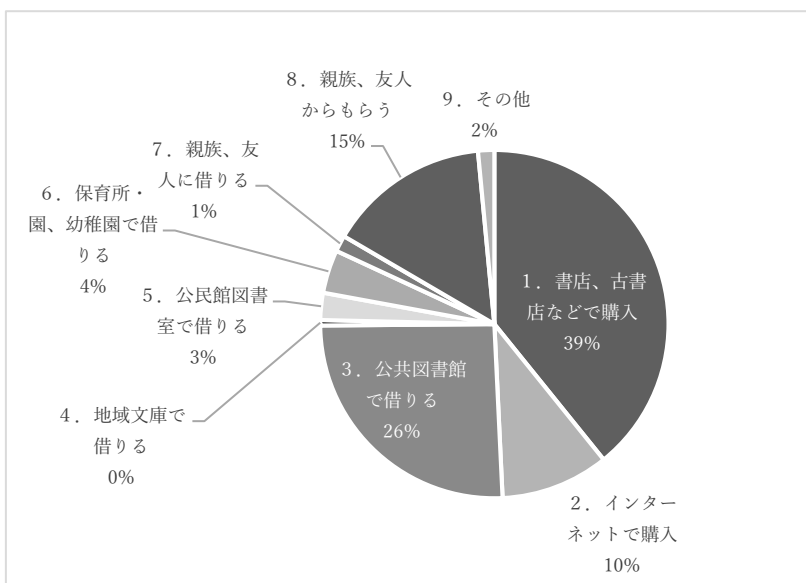
問2 問1の答えで⑥以外の方は、お答えください。普段、どなたが子どもに本を読んであげていますか。(複数回数可)

前回調査時より「兄・姉」と回答した人が増えましたが、前回同様9割程度家庭では「母」や「父」が読み聞かせを行っています。



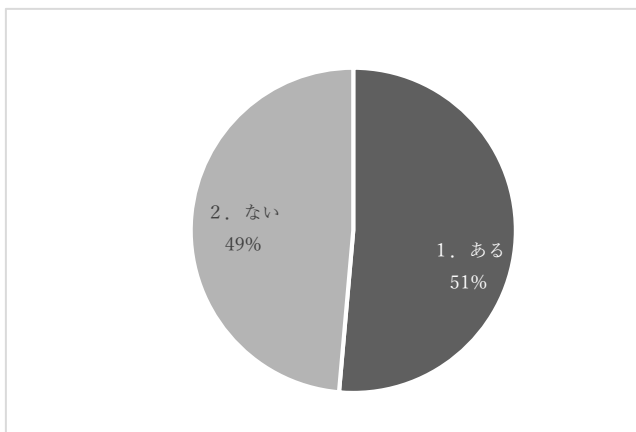
問3 子どもに読み聞かせをする本はどのように用意しますか。(複数回答可)

前回調査と同様に、書店や公共図書館で本を用意する人が多く、身近で手に取って選ぶことが本を選ぶ基準になっていると思われます。



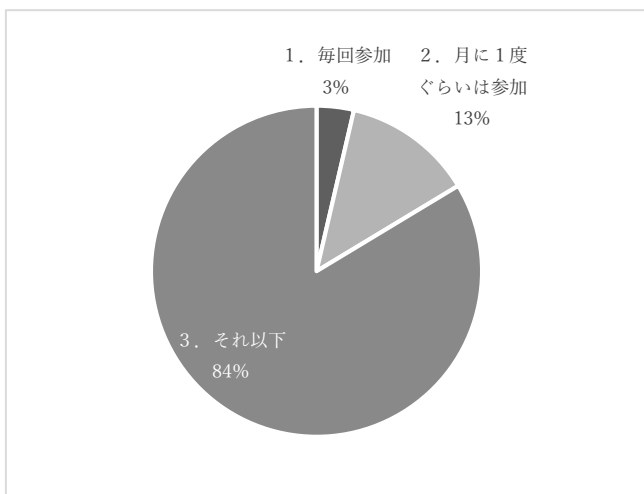
問4 あなたは子どもと一緒に公立図書館などで行う、おはなし会や読み聞かせの会などに参加したことがありますか。

参加したことがないと回答した保護者の割合が前回調査時の 39%から 49%と増加しました。



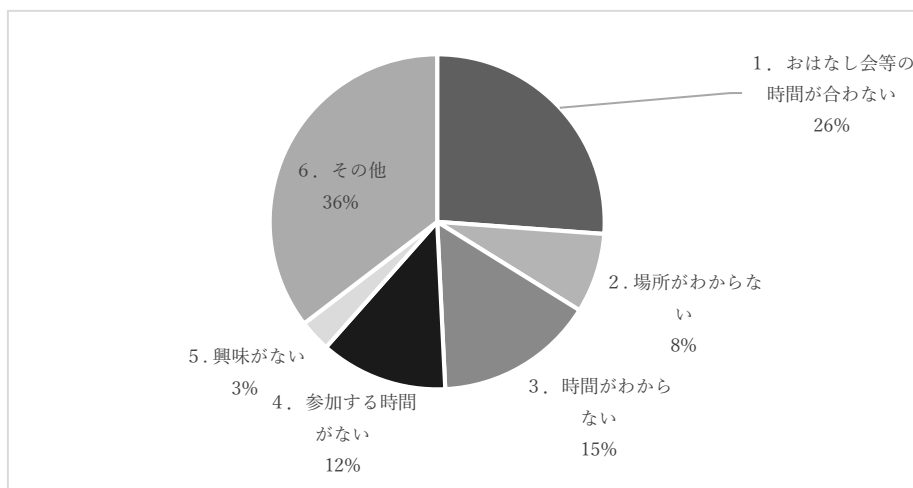
問4-1 「ある」と答えた方は、どのくらいの頻度で参加していますか。

おはなし会へ参加したことがあると回答した保護者もその頻度は、前回の調査時は「毎回参加」と「月に1度くらいは参加」が50%を超えていましたが、今回の調査では、16%にとどまりました。



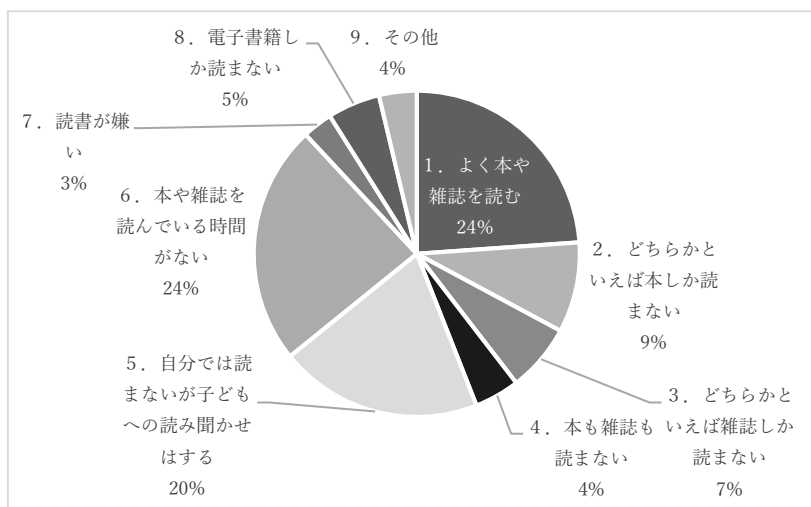
問4-2 「ない」と答えた方は、参加しない理由を教えてください。(複数回答可)

時間が合わないと回答した人が多かったですが、その他として子どもの年齢のことや静かに聞けないなどの回答が多く、おはなし会への敷居が高いと感じる保護者も多いようです。



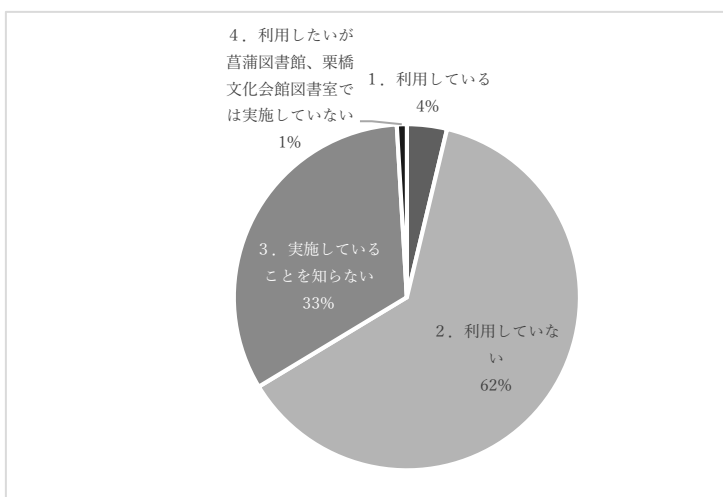
問5 あなた自身の読書についてお伺いします。(複数回答可)

「よく本や雑誌を読む」「どちらかといえば本しか読まない」「どちらかといえば雑誌しか読まない」を合わせると、前回の調査時は60%近くまでいましたが、今回の調査では40%と減少しました。また、「電子書籍しか読まない」と回答した割合がやや増加しました。



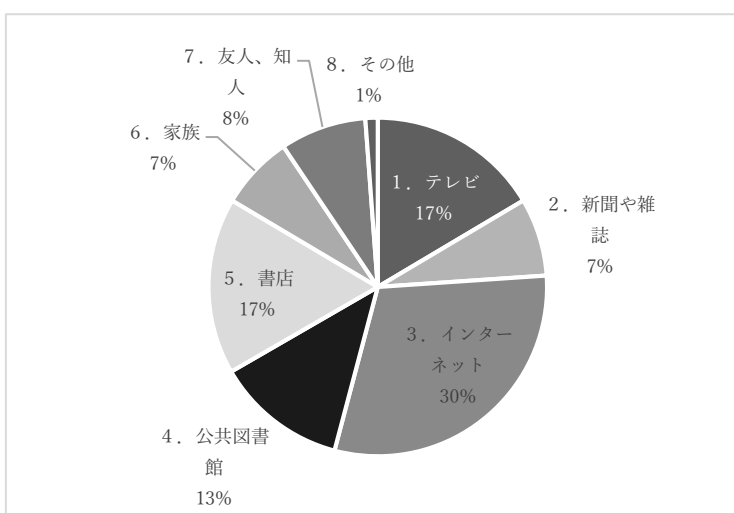
問6 中央図書館・鷺宮図書館での託児サービスについてお伺いします。

令和元年度から開始したサービスですが、「利用している」と回答した保護者は 4%にとどまりました。「知らない」と回答した保護者が 3 割以上いるため、更なる周知が必要です。



問7 日頃、本に関する情報はどこから得ますか (複数回答可)

「インターネット」と回答した保護者が 3 割と前回調査時より 9%増加しました。ホームページや SNS を利用した情報発信が有効と思われます。



乳幼児保護者読書アンケート

該当するところに○をつけてください。

あなたのお子さんは、（調査時点で）何歳ですか。

1. 0～1歳児 2. 2～3歳児 3. 4～5歳児 4. 6歳児～

問1 あなたの家庭では、子どもに読み聞かせをしていますか。

1. ほぼ、毎日 2. 週の半分くらい 3. 週に1、2回 4. 月に2、3回
5. 月に1回程度 6. していない

問2 問1の答えで⑥以外の方は、お答えください。

普段、どなたが子どもに本を読んであげていますか。(複数回数可)

1. 母 2. 父 3. 祖父 4. 祖母 5. 兄、姉 6. その他（ ）

問3 子どもに読み聞かせをする本はどのように用意しますか。（複数回答可）

1. 書店、古書店などで購入 2. インターネットで購入 3. 公共図書館で借りる
4. 地域文庫で借りる 5. 公民館図書室で借りる 6. 保育所・園、幼稚園で借りる
7. 親族、友人に借りる 8. 親族、友人からもらう 9. その他（ ）

問4 あなたは子どもと一緒に公立図書館などで行う、おはなし会や読み聞かせの会などに参加したことがありますか。

1. ある 2. ない

問4-1 「ある」と答えた方は、どのくらいの頻度で参加していますか。

1. 毎回参加
2. 月に1度ぐらいは参加
3. それ以下

問4-2 「ない」と答えた方は、参加しない理由を教えてください。(複数回答可)

1. おはなし会等の時間が合わない
2. 場所がわからない
3. 時間がわからない
4. 参加する時間がない
5. 興味がない
6. その他 ()

問5 あなた自身の読書についてお伺いします。(複数回答可)

1. よく本や雑誌を読む
2. どちらかといえば本しか読まない
3. どちらかといえば雑誌しか読まない
4. 本も雑誌も読まない
5. 自分では読まないが子どもへの読み聞かせはする
6. 本や雑誌を読んでいる時間がない
7. 読書が嫌い
8. 電子書籍(パソコン・タブレット端末等を使う読書)しか読まない
9. その他 ()

問6 中央図書館・鷺宮図書館での託児サービスについてお伺いします。

1. 利用している
2. 利用していない
3. 実施していることを知らない
4. 利用したいが菖蒲図書館、栗橋文化会館図書室では実施していない

問7 日頃、本に関する情報はどこから得ますか (複数回答可)

1. テレビ
2. 新聞や雑誌
3. インターネット
4. 公共図書館
5. 書店
6. 家族
7. 友人、知人
8. その他 ()

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

久喜市教育委員会生涯学習課図書館係
電話 0480-22-5555 (内線 375. 376)

4 児童・生徒読書アンケート結果

調査期間 令和2年2月17日（月）～2月28日（金）

調査対象 ・久喜市内21校の小学校4年生
・久喜市内10校の中学校2年生
・久喜市内3校の県立高校と昌平高校2年生
※菖蒲小、栗橋小、鷲宮中、久喜北陽高校、栗橋北彩高校は休校措置に入り実施できませんでした。

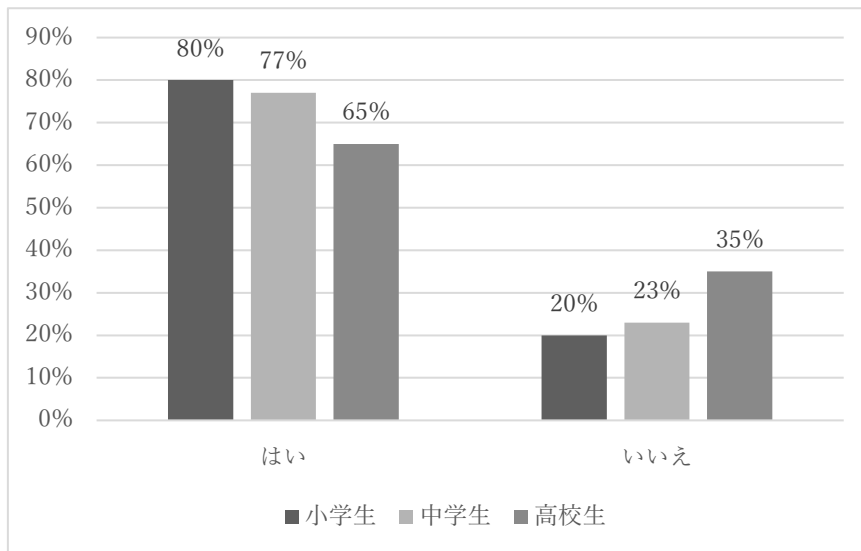
調査方式 各学校にてアンケートの配布・回収の実施を依頼

回収数 小学生 589枚
中学生 321枚
高校生 173枚（市内在住者36人、市外在住者136人、無回答1人）

調査の結果

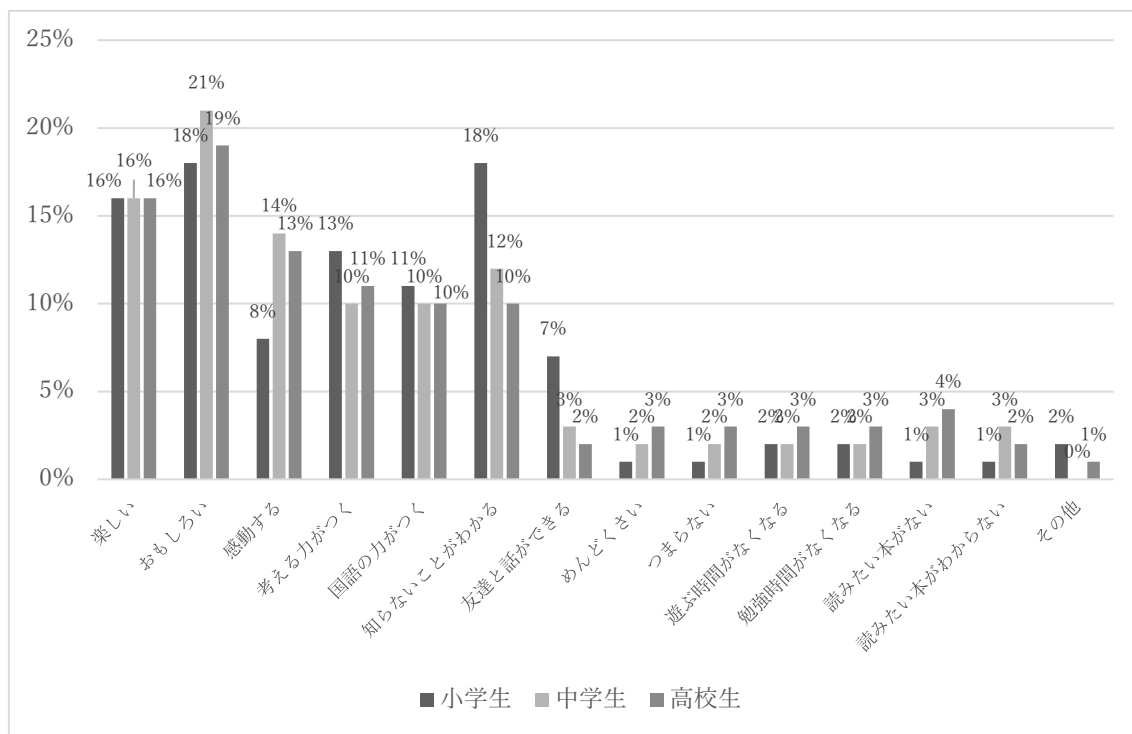
問1 あなたは本を読むことが好きですか

読書が好きと答えた人は、小学生が80%、中学生が77%、高校生が65%と前回の調査時と大きな変化はありませんでした。小学生の8割が読書が好きと回答する一方で年代が上がるにつれ、その割合が減少していくことが分かります。



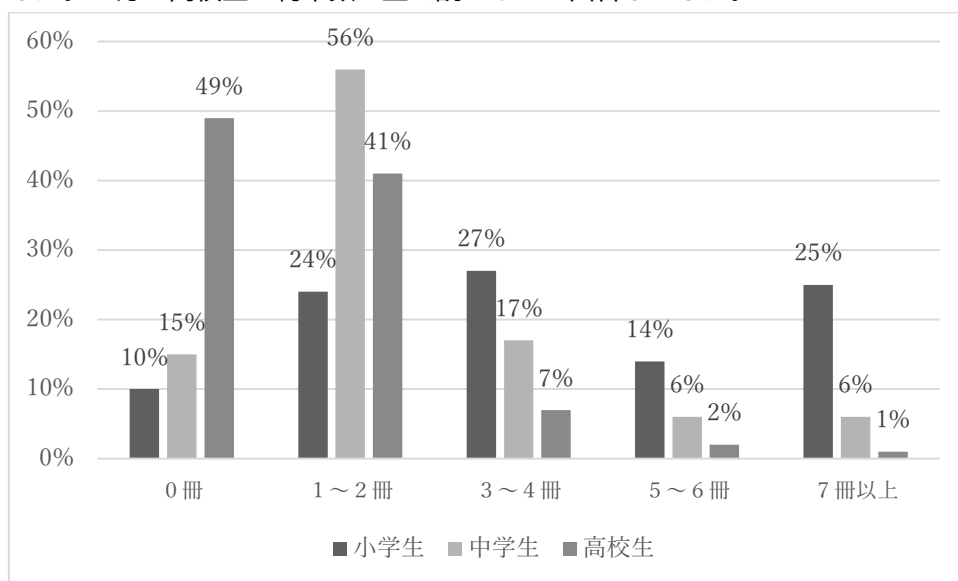
問2 読書についてどう思いますか（5つまで）

前回の調査時と同様、すべての年代で「おもしろい」という回答が1番多く、「楽しい」や「知らないことがわかる」といった好意的なイメージが多く、「めんどくさい」「つまらない」「遊ぶ時間がなくなる」など、否定的なイメージは年代が上がるにつれ増加します。



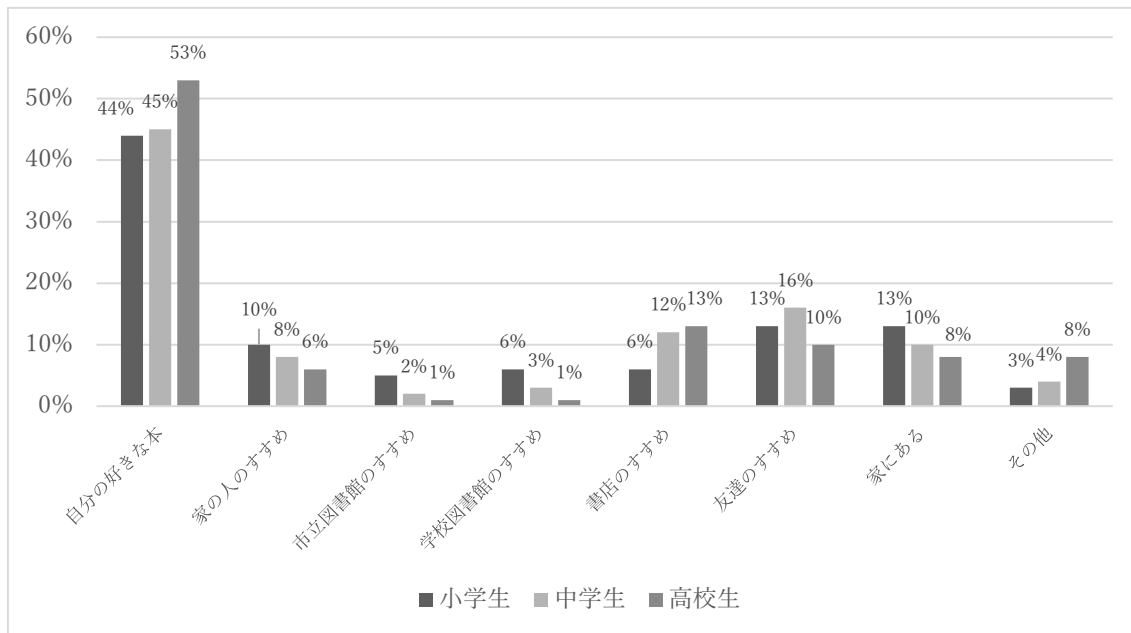
問3 1か月におよそ何冊ぐらいの本を読みますか（マンガ・雑誌は入れません）

「7冊以上」読むと回答したのは、小学生が25%に対し、高校生になると1%と大幅に減少しました。一方で高校生は約半数は全く読まないと回答しました。



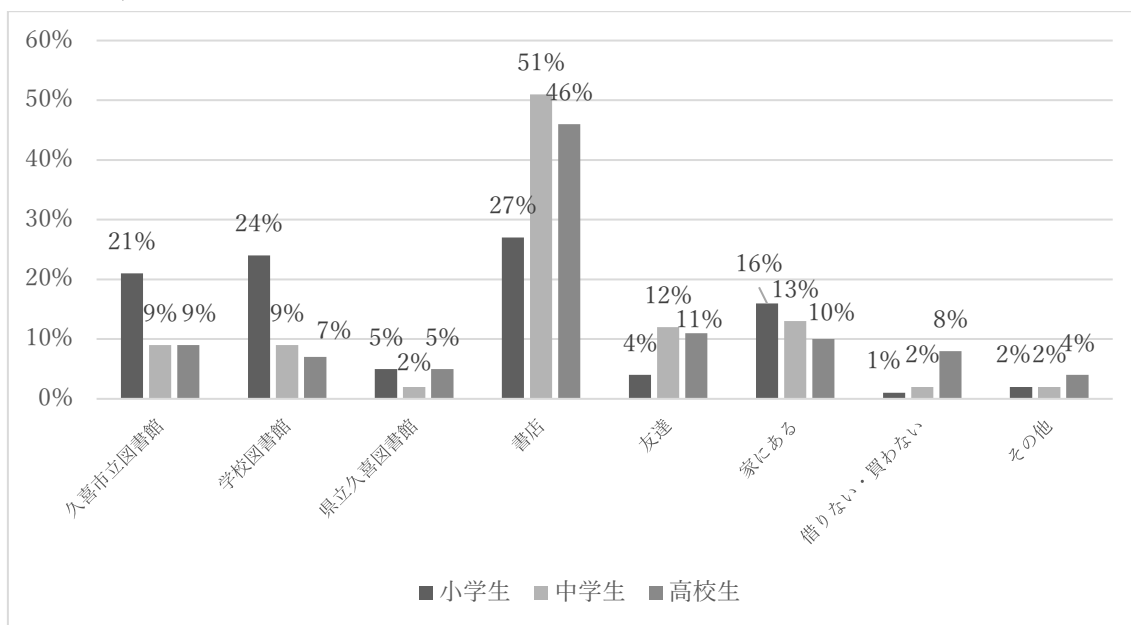
問4 どのようにして、読む本を選んでいきますか（3つまで）

どの年代も「自分の好きな本」という回答が最も多く、4～5割を占めました。「友達」や「家の人」などにすすめられた本を選ぶと回答した児童・生徒は小学生が40%、中学生が41%、高校生が31%であり、年代が幼いほど本を選ぶときに周囲の影響が大きいと思われます。



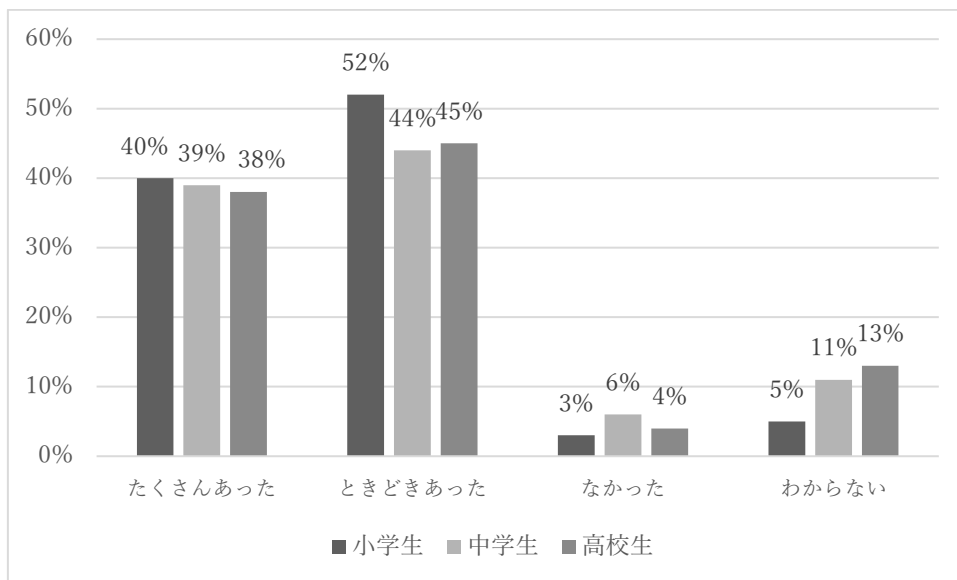
問5 読む本はどこで借りたり、買ったりしますか（3つまで）

どの年代も「書店」という回答が1番多いですが、小学生は「学校図書館」「市立図書館」の割合も20%を超えていましたが、中高生になると、ほぼ半数が「書店」と回答し、図書館はそれぞれ10%に達しませんでした。

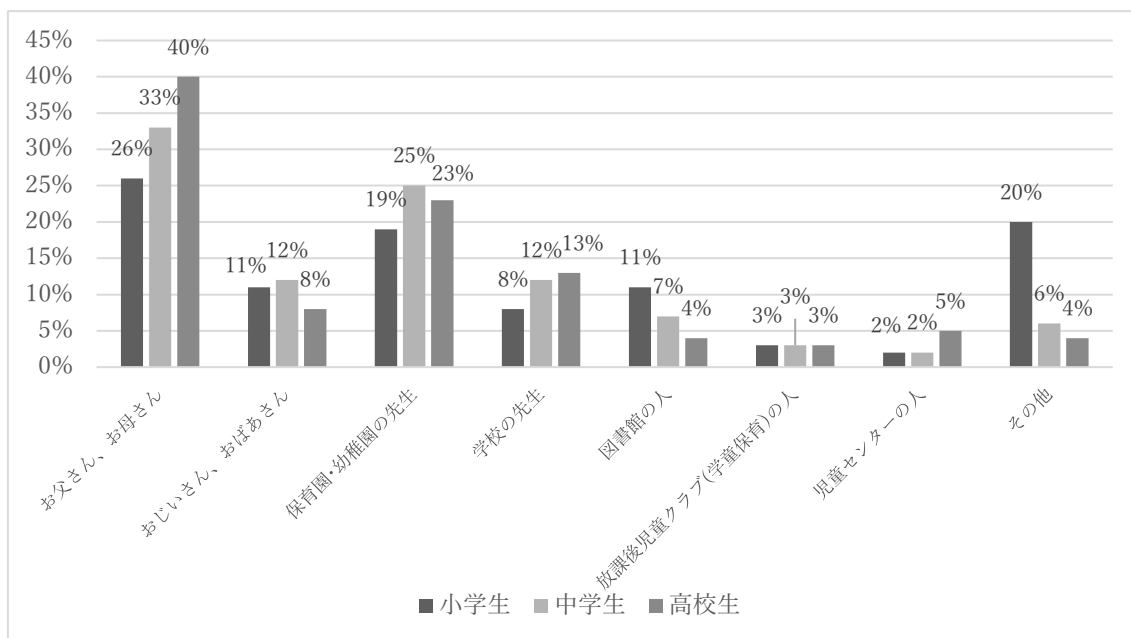


問6 誰かに本を読んでもらったり、昔話を聞いたりしたことがありますか

小学生が90%以上、中高生が80%以上とどの年代も、ほとんどの児童・生徒に読み聞かせ等をしてもらった経験がありました。

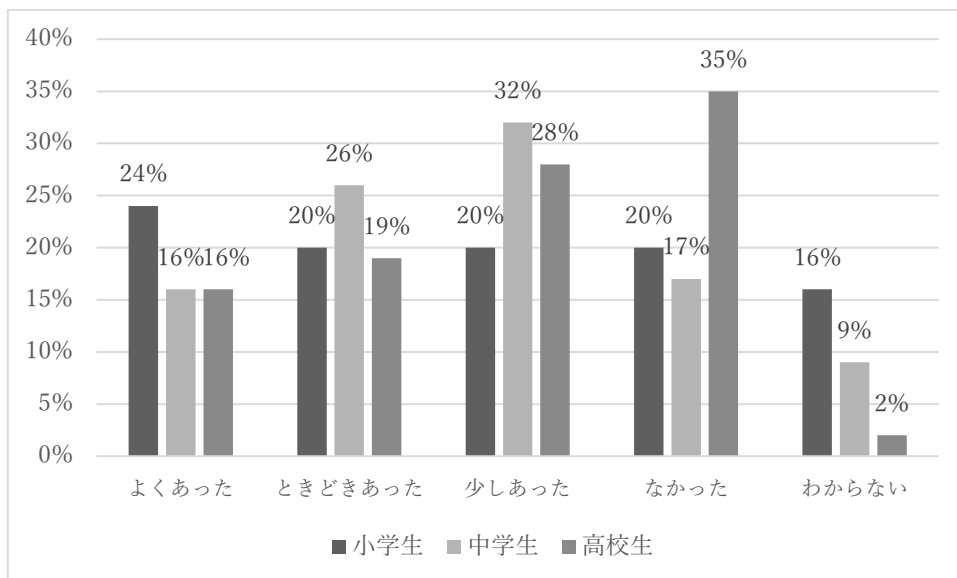


問7 問6で1と2に○をつけた人は、誰に本を読んでもらったり、昔話をしてもらいましたかどの年代も「父母」の回答が1番多く、続いて「幼稚園・保育園の先生」でした。その他の回答には「ボランティア」が多く、地域のボランティア活動が根付いていることが分かります。



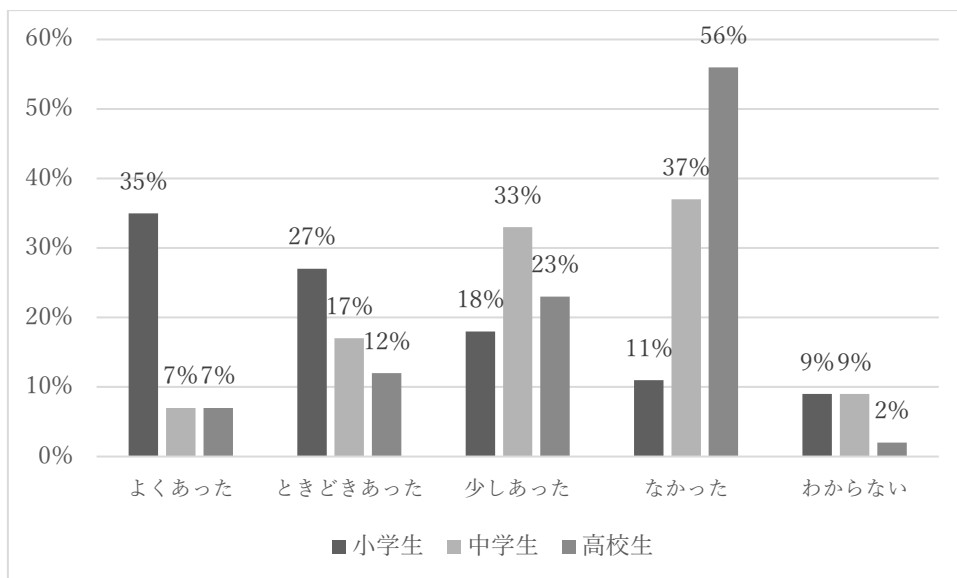
問8 小学校・中学校・高校に入学する前に久喜市立図書館（居住地の公立図書館）に行ったことがありますか

「あった」と回答したのは、小学生が64%、中学生が74%、高校生が63%でした。



問9 小学校・中学校・高校に入学してから久喜市立図書館（居住地の公立図書館）に行ったことがありますか

「あった」と回答したのは、小学生が80%、中学生が57%、高校生が42%でした。

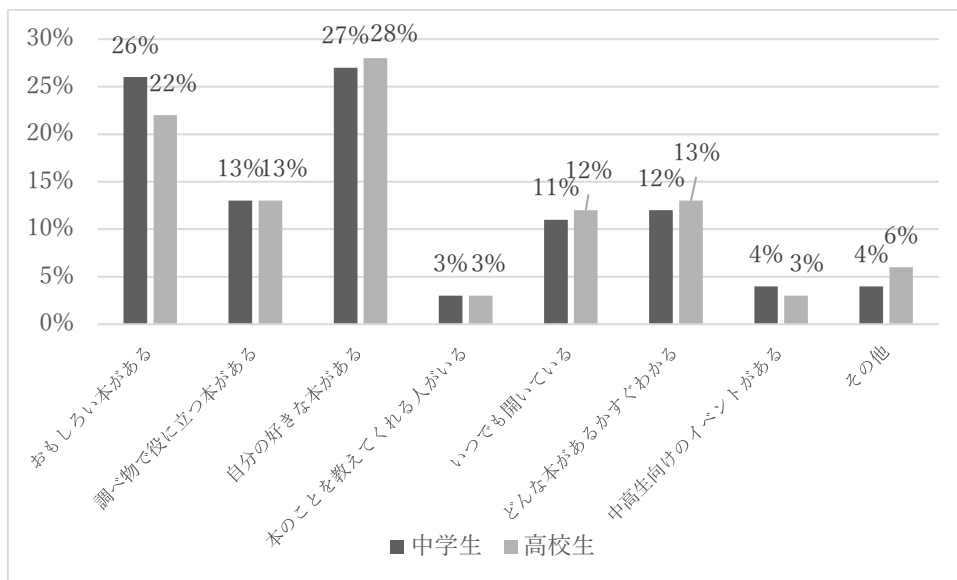


問8，9から

小学生になると小学校へ入学する前より、図書館を利用する頻度が多くなり、中学生になると図書館を利用する生徒が減少することが分かります。高校生は5割以上の生徒が図書館を利用していないようです。

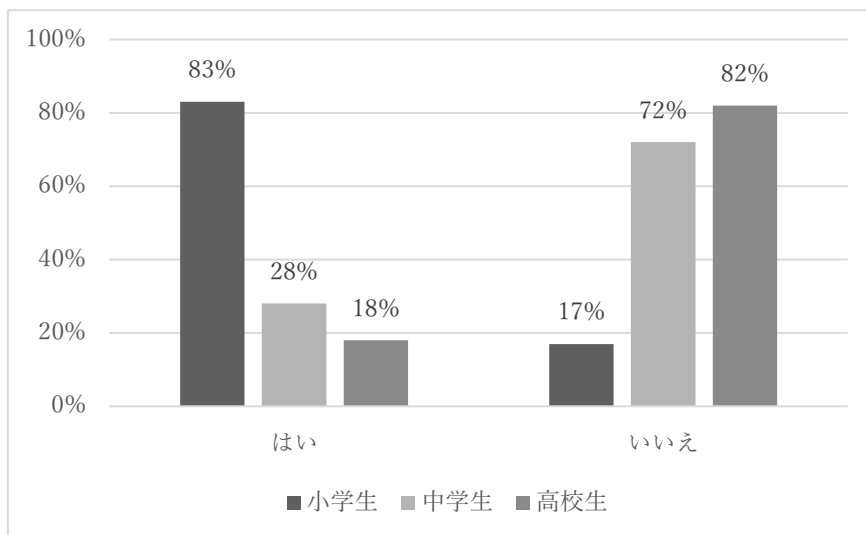
問10 久喜市立図書館に希望することはなんですか

前回の調査時と同様に「自分の好きな本がある」「おもしろい本がある」という回答が多いという結果になりました。



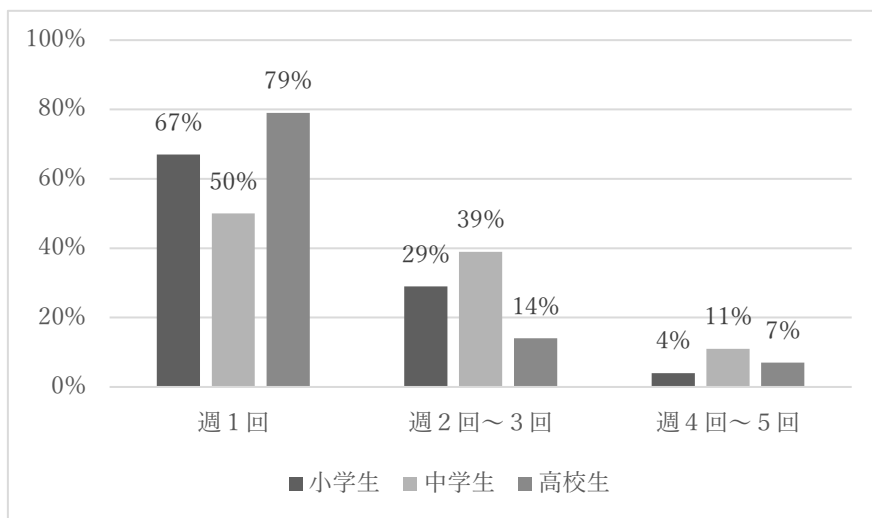
問11 学校図書館・図書室を利用していますか

「利用している」と回答したのは、小学生が8割以上であるのに対し、中学生が28%、高校生が18%と、中学生になると利用率が大きく減少することが分かります。



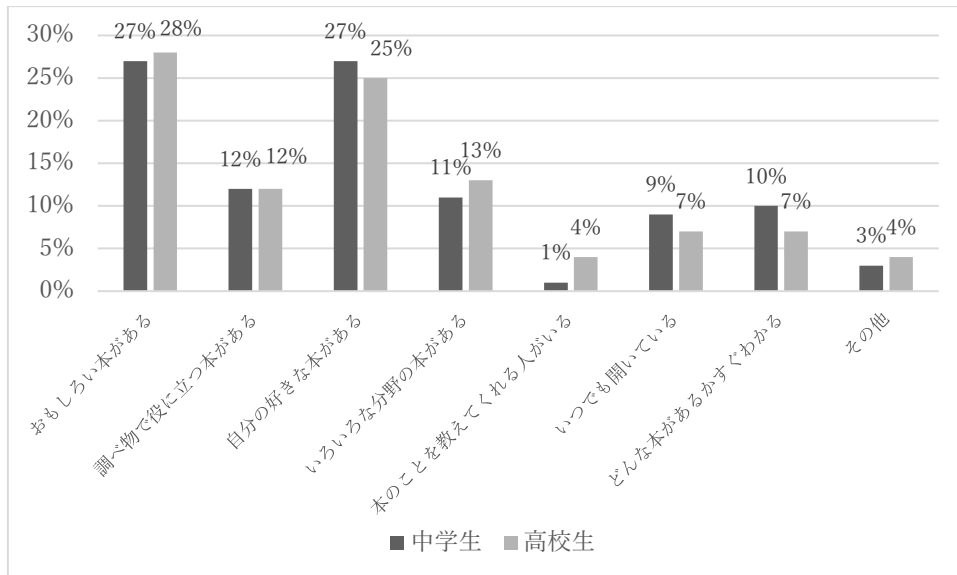
問12 問11で1に○をつけた人は、どのくらい利用していますか

どの年代も「週1回」と回答した児童・生徒が最も多いという結果になりました。

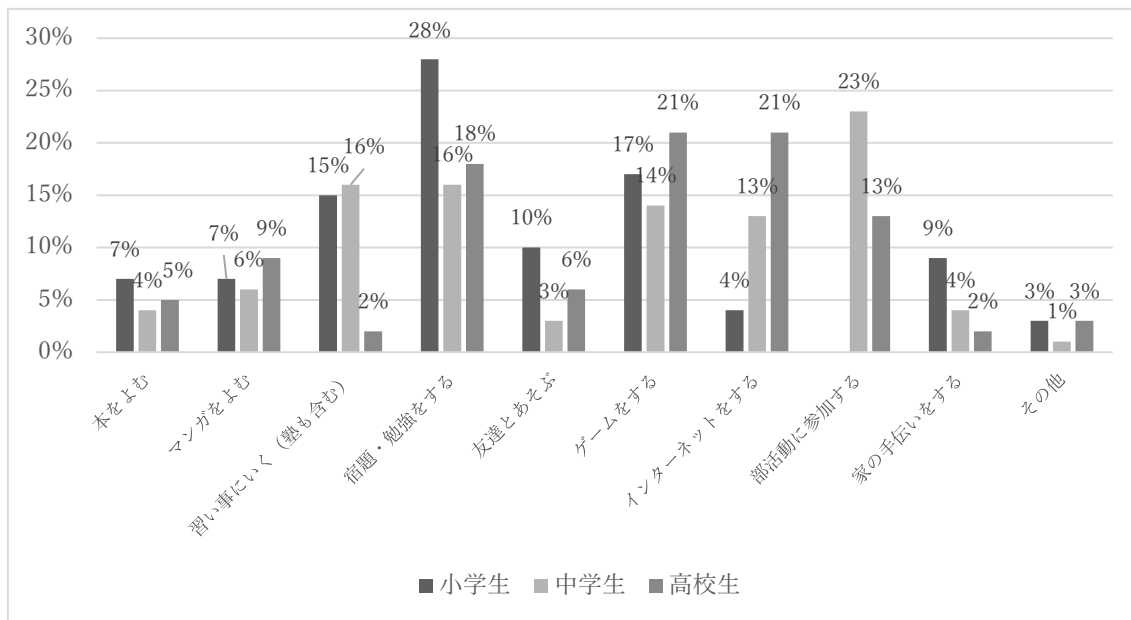


問13 学校図書館・図書室に希望することはなんですか

市立図書館に希望することと同じで「おもしろい本がある」「自分の好きな本がある」が多いという結果になりました。

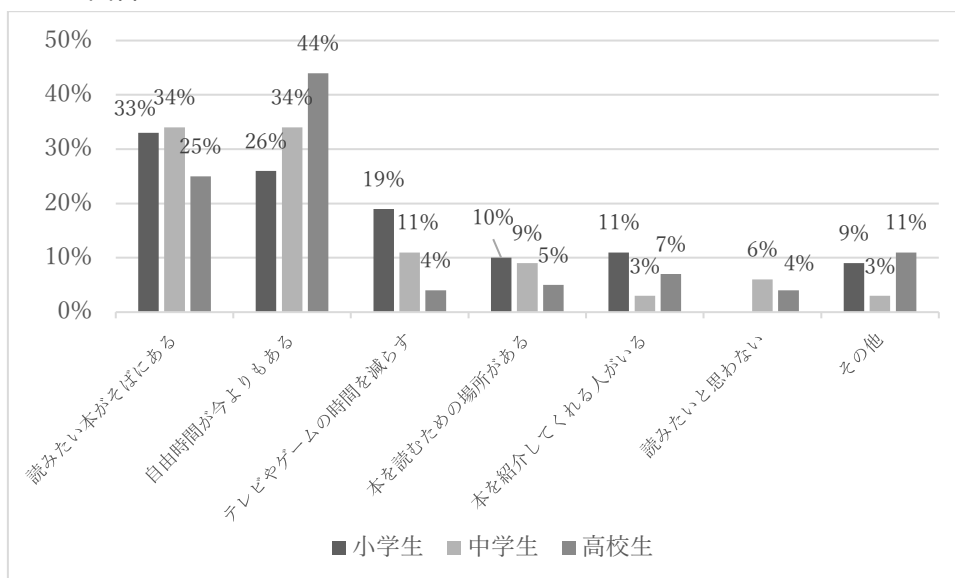


問14 学校の授業が終わってから、寝るまでに何をしていることが多いですか（3つまで）
 小学生は「宿題・勉強」が3割近くを占め、次いで「ゲーム」「習い事」、中学生は「部活」が2割、次いで「習い事」「宿題・勉強」、高校生は「ゲーム」「インターネット」がそれぞれ2割、次いで「宿題・勉強」でした。「本を読む」と回答したのは、小学生が7%、中学生が4%、高校生が5%にとどまりました。



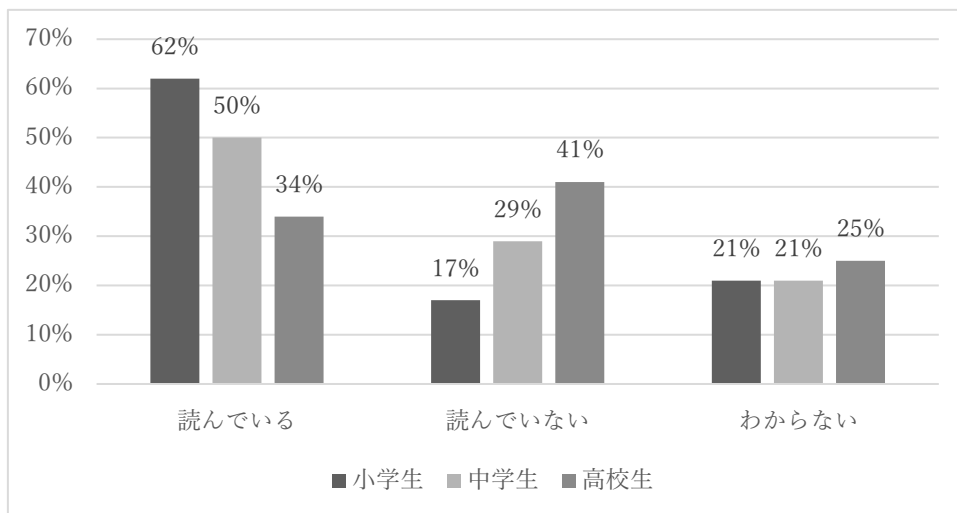
問15 どうすれば今より本が読めると思いますか

どの年代も「読みたい本がそばにある」「自由時間が今よりもある」という要因があれば本を読めると回答しました。

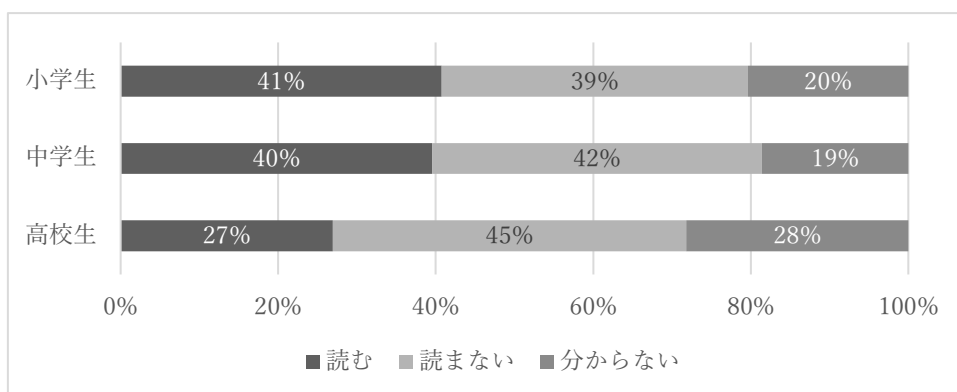


問16 家族の中で誰かが家で本を読んでいますか

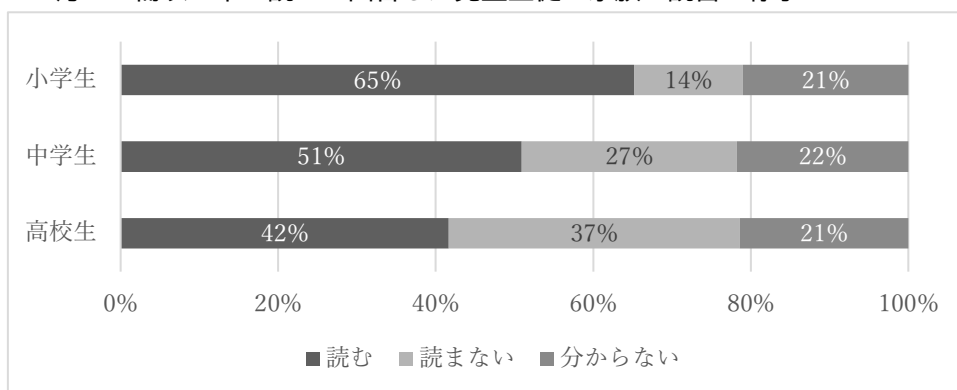
問3の読書状況から0冊と回答した人と、1冊以上と回答した人をそれぞれ抽出すると、0冊と回答した児童生徒の家族は1冊以上読んだと回答した児童生徒の家族より「読んでいない」と回答した割合が高くなることが分かりました。



1か月に全く本を読まないと回答した児童生徒の家族の読書の様子



1か月に1冊以上本を読むと回答した児童生徒の家族の読書の様子



小学生読書アンケート

小学校名 () ()

あてはまるところに○をつけてください

問1 あなたは本を読むことが好きですか

1. はい 2. いいえ

問2 読書についてどう思いますか(5つまで選んでください)

1. 楽しい 2. おもしろい 3. 感動する 4. 考える力がつく 5. 国語の力がつく 6. 知らないことがわかる
7. 友達と話ができる 8. めんどくさい 9. つまらない 10. 遊ぶ時間がなくなる 11. 勉強時間がなくなる
12. 読みたい本がない 13. 読みたい本がわからない 14. その他()

問3 1か月におよそ何冊ぐらいの本を読みますか(マンガ・雑誌は入れません)

1. 0冊 2. 1～2冊 3. 3～4冊 4. 5～6冊 5. 7冊以上

問4 誰かに本を読んでもらったり、昔話を聞いたりしたことがありますか

1. たくさんあった 2. ときどきあった 3. なかった 4. わからない

問5 問4で1と2に○をつけた人は、誰に本を読んでもらったり、昔話をしてもらったりしましたか

1. お父さん、お母さん 2. おじいさん、おばあさん 3. 保育園・幼稚園の先生 4. 学校の先生 5. 図書館の人
6. 放課後児童クラブ(学童保育)の人 7. 児童センターの人 8. その他()

問6 小学校に入学する前に市立図書館に行ったことがありますか

1. よくあった 2. ときどきあった 3. 少しあった 4. なかった 5. わからない

問7 小学校に入学してから市立図書館に行ったことがありますか

1. よくあった 2. ときどきあった 3. 少しあった 4. なかった 5. わからない

問8 学校図書館を利用していますか

1. 利用している
2. 利用していない

問9 問8で1に○をつけた人は、どのくらい利用していますか

1. 週1回
2. 週2回～3回
3. 週4回～5回

問10 どのようにして、読む本を選んでいきますか(3つまで)

1. 自分の好きな本
2. 家の人のすすめ
3. 市立図書館のすすめ
4. 学校図書館のすすめ
5. 書店のすすめ
6. 友達のすすめ
7. 家にある
8. 放課後児童クラブ
9. その他()

問11 読む本はどこで借りたり、買ったりしますか(3つまで)

1. 市立図書館
2. 学校図書館
3. 県立久喜図書館
4. 書店
5. 友達
6. 家にある
7. 放課後児童クラブ
8. その他()

問12 どうすれば今より本が読めると思いますか

1. 読みたい本がそばにある
2. 自由時間が今よりもある
3. テレビやゲームの時間を減らす
4. 本を読むための場所がある
5. 本を紹介してくれる人がいる
6. その他()

問13 学校から家に帰ったあと、寝るまでに何をすることが多いですか(3つまで)

1. 本をよむ
2. マンガをよむ
3. 習い事に行く(塾も含む)
4. 宿題・勉強をする
5. 友達とあそぶ
6. ゲームをする
7. インターネットをする
8. 家の手伝いをする
9. その他()

問14 おうちの人の中で誰かが家で本を読んでいますか

1. 読んでいる
2. 読んでいない
3. わからない

以上です。ご協力ありがとうございました。

久喜市教育委員会生涯学習課図書館係
電話 0480-22-5555(内線 375.376)

中学生読書アンケート

学校名 (中学校)

あてはまるところに○をつけてください。

問1 あなたは本を読むことが好きですか

1. はい 2. いいえ

問2 読書についてどう思いますか(5つまで)

1. 楽しい 2. おもしろい 3. 感動する 4. 考える力がつく 5. 国語の力がつく 6. 知らないことがわかる
7. 友達と話ができる 8. めんどくさい 9. つまらない 10. 遊ぶ時間がなくなる 11. 勉強時間がなくなる
12. 読みたい本がない 13. 読みたい本がわからない 14. その他()

問3 1か月におよそ何冊ぐらいの本を読みますか(マンガ・雑誌は入れません)

1. 0冊 2. 1～2冊 3. 3～4冊 4. 5～6冊 5. 7冊以上

問4 どのようにして、読む本を選んでいきますか(3つまで)

1. 自分の好きな本 2. 家の人のすすめ 3. 市立図書館のすすめ 4. 学校図書館のすすめ
5. 書店のすすめ 6. 友達のすすめ 7. 家にある 8. その他()

問5 読む本はどこで借りたり、買ったりしますか(3つまで)

1. 久喜市立図書館 2. 学校図書館 3. 県立久喜図書館 4. 書店 5. 友達 6. 家にある
7. 借りない・買わない 8. その他()

問6 誰かに本を読んでもらったり、昔話を聞いたりしたことがありますか

1. たくさんあった 2. ときどきあった 3. なかった 4. わからない

問7 問6で1と2に○をつけた人は、誰に本を読んでもらったり、昔話をしてもらいましたか

1. お父さん、お母さん 2. おじいさん、おばあさん 3. 保育園・幼稚園の先生 4. 学校の先生
5. 図書館の人 6. 放課後児童クラブ(学童保育)の人 7. 児童センターの人
8. その他()

問8 中学校に入学する前に久喜市立図書館に行ったことがありますか

1. よくあった 2. ときどきあった 3. 少しあった 4. なかった 5. わからない

問9 中学校に入学してから久喜市立図書館に行ったことがありますか

1. よくあった 2. ときどきあった 3. 少しあった 4. なかった 5. わからない

問10 久喜市立図書館に希望することはなんですか

1. おもしろい本がある 2. 調べ物で役に立つ本がある 3. 自分の好きな本がある
4. 本のことを教えてくれる人がいる 5. いつでも開いている 6. どんな本があるかすぐわかる
7. 中学生向けのイベントがある 8. その他()

問11 学校図書館・図書室を利用していますか

1. 利用している → 問12へ 2. 利用していない → 問13へ

問12 問11で1に○をつけた人は、どのくらい利用していますか

1. 週1回 2. 週2回～3回 3. 週4回～5回

問13 学校図書館・図書室に希望することはなんですか

1. おもしろい本がある 2. 調べ物で役に立つ本がある 3. 自分の好きな本がある
4. いろいろな分野の本がある 5. 本のことを教えてくれる人がいる
6. いつでも開いている 7. どんな本があるかすぐわかる 8. その他()

問14 学校の授業が終わってから、寝るまでに何をしていることが多いですか(3つまで)

1. 本をよむ 2. マンガをよむ 3. 習い事にいく(塾も含む) 4. 宿題・勉強をする
5. 友達とあそぶ 6. ゲームをする 7. インターネットをする 8. 部活動に参加する
9. 家の手伝いをする 10. その他()

問15 どうすれば今より本が読めると思っていますか

1. 読みたい本がそばにある 2. 自由時間が今よりもある 3. テレビやゲームの時間を減らす
4. 本を読むための場所がある 5. 本を紹介してくれる人がいる 6. 読みたいと思わない
7. その他()

問16 家族の中で誰かが家で本を読んでいますか

1. 読んでいる 2. 読んでいない 3. わからない

以上です。ご協力ありがとうございました。

久喜市教育委員会生涯学習課図書館係
電話 0480-22-5555(内線 375.375)

高校生読書アンケート

学校名 (高等学校)

あてはまるところに○をつけてください。

問1 あなたのお住まいはどこですか

1. 久喜市内 2. 市外

問2 あなたは本を読むことが好きですか

1. はい 2. いいえ

問3 読書についてどう思いますか(5つまで)

1. 楽しい 2. おもしろい 3. 感動する 4. 考える力がつく 5. 国語の力がつく 6. 知らないことがわかる
7. 友達と話ができる 8. めんどくさい 9. つまらない 10. 遊ぶ時間がなくなる 11. 勉強時間がなくなる
12. 読みたい本がない 13. 読みたい本がわからない 14. その他()

問4 1か月におよそ何冊ぐらいの本を読みますか(マンガ・雑誌は入れません)

1. 0冊 2. 1～2冊 3. 3～4冊 4. 5～6冊 5. 7冊以上

問5 どのようにして、読む本を選んでいきますか(3つまで)

1. 自分の好きな本 2. 家の人のすすめ 3. 市立図書館のすすめ 4. 学校図書館のすすめ
5. 書店のすすめ 6. 友達のすすめ 7. 家にある 8. その他()

問6 読む本はどこで借りたり、買ったりしますか(3つまで)

1. 居住地もしくは久喜市の市町立図書館 2. 学校図書館 3. 居住地の県立図書館 4. 書店
5. 友達 6. 家にある 7. 借りない・買わない 8. その他()

問7 誰かに本を読んでもらったり、昔話を聞いたりしたことがありますか

1. たくさんあった 2. ときどきあった 3. なかった 4. わからない

問8 問7で1と2に○をつけた人は、誰に本を読んでもらったり、昔話をしてもらいましたか

1. 父・母 2. 祖父・祖母 3. 保育園・幼稚園の先生 4. 学校の先生 5. 図書館の人
6. 放課後児童クラブ(学童保育)の人 7. 児童センターの人 8. その他()

問9 高校に入学する前に居住地もしくは久喜市の公立図書館に行ったことがありますか

1. よくあった 2. ときどきあった 3. 少しあった 4. なかった 5. わからない

問10 高校に入学してから居住地もしくは久喜市の公立図書館に行ったことがありますか

1. よくあった 2. ときどきあった 3. 少しあった 4. なかった 5. わからない

問11 居住地もしくは久喜市の公立図書館に希望することはありますか

1. おもしろい本がある
2. 調べ物で役に立つ本がある
3. 自分の好きな本がある
4. 本のことを教えてくれる人がいる
5. いつでも開いている
6. どんな本があるかすぐわかる
7. 高校生向けのイベントがある
8. その他()

問12 学校図書館・図書室を利用していますか

1. 利用している → 問13へ
2. 利用していない → 問14へ

問13 問12で1に○をつけた人は、どのくらい利用していますか

1. 週1回
2. 週2回～3回
3. 週4回～5回

問14 学校図書館・図書室に希望することはありますか

1. おもしろい本がある
2. 調べ物で役に立つ本がある
3. 自分の好きな本がある
4. いろいろな分野の本がある
5. 本のことを教えてくれる人がいる
6. いつでも開いている
7. どんな本があるかすぐわかる
8. その他()

問15 学校の授業が終わってから、寝るまでに何をしていることが多いですか(3つまで)

1. 本をよむ
2. マンガをよむ
3. 習い事にいく(塾も含む)
4. 宿題・勉強をする
5. 友達とあそぶ
6. ゲームをする
7. インターネットをする
8. 部活動に参加する
9. 家の手伝いをする
10. その他()

問16 どうすれば今より本が読めると思いますか

1. 読みたい本がそばにある
2. 自由時間が今よりもある
3. テレビやゲームの時間を減らす
4. 本を読むための場所がある
5. 本を紹介してくれる人がいる
6. 読みたいと思わない
7. その他()

問17 家族は家で本を読んでいますか

1. 読んでいる
2. 読んでいない
3. わからない

以上です。ご協力ありがとうございました。

久喜市教育委員会生涯学習課図書館係
電話 0480-22-5555(内線375.376)

5 「久喜市立図書館の基本的運営方針」策定の経緯

	時 期	事 項
令和2年	2月～（令和元年度中）	乳幼児保護者読書アンケート実施
		小学生読書アンケート実施
		中学生読書アンケート実施
		高校生読書アンケート実施
		指定管理者による利用者アンケート実施
	4月	「久喜市立図書館の基本的運営方針（案）」作成開始
	9月8日	図書館運営審議会 教育長から図書館運営審議会へ「久喜市立図書館の基本的運営方針」について諮問 「久喜市立図書館の基本的運営方針（案）」を説明
	9月	図書館運営審議会委員から寄せられた意見・提言により「久喜市立図書館の基本的運営方針（案）」を修正。
	10月21日	図書館運営審議会 修正した「久喜市立図書館の基本的運営方針（案）」を説明
10月	図書館運営審議会の審議結果を反映し、「久喜市立図書館の基本的運営方針（案）」を再度修正。パブリック・コメントの原案とする。	
11月19日～ 12月18日	パブリック・コメントの実施	
12月	パブリック・コメントの実施結果を反映し、「久喜市立図書館の基本的運営方針（案）」を再度修正。	
令和3年	1月下旬	図書館運営審議会開催中止に伴い、パブリック・コメントの実施結果と「久喜市立図書館の基本的運営方針（案）」について書面での審議
	3月2日	図書館運営審議会から教育長へ「久喜市立図書館の基本的運営方針（案）」について答申
	3月19日	定例教育委員会に議案として上程・議決
	3月下旬	「久喜市立図書館の基本的運営方針」（令和3年度～令和7年度）策定

6 久喜市立図書館運営審議会委員名簿

任期：令和2年8月17日から令和4年8月16日まで

役職名	氏名	任用基準	備考
	佐藤 利幸	公募	
副会長	松本 秀樹	公募	
	三根 和	公募	
	青山 里美	学校教育の関係者	青葉小学校長
	玉置 政美	社会教育の関係者	社会教育委員
	沖沢 香織	家庭教育の向上に資する活動を行う者	久喜市 PTA 連合会
	鈴木 一雄	学識経験者	民生・児童委員協議会
	芋川 修	学識経験者	埼玉県立久喜図書館長
会長	塩崎 勲	学識経験者	
	柴崎 和雄	学識経験者	

久喜市立図書館の基本的運営方針

発行：令和3年3月 久喜市教育委員会

編集：久喜市教育委員会 教育部 生涯学習課

〒346-0033 埼玉県久喜市下清久 500-1

電話：0480-22-5555（代表）

Email：shogaigakushu@city.kuki.lg.jp